



恩地左近太郎聞書

正成シテ鈔談ロウノ詞ゴニ曰ク凡ス國郡クニノヲ治シ諸人シテノ司シタ  
 ラン者モハ心持ココロ尋常ヨソニシテハ叶ハヘカラス余オレ多ク心得コト  
 有ルベシ百歳ヒャクノ童コトヤラシクゴトク年トシ長クテモ思フナ  
 ルアリキ十歳ジュウノ公羽キミトヤラシク幼コヨリ賢サトウ有ル諸人シテノ司シタ  
 ラン者モハ幼コトテモ思フニシテハ叶ハヘカタクク賢サトウニシテ百歳ヒャク  
 ノ人ヒト之ノ賢サトウ智チノゴトクナラハ人ヒトノ司シト成ルニカト也故ユニ  
 諸人シテノ中ナカニモ智チヲ以テ要ニトセリ最モト假借カキノ遊アソビニモ  
 竹馬タケウマニ策サツヲ打ウ木葉キハヲ集ツテ鷄ニトリトシテ出デ任ニ房ハ土ツチ  
 マソビナトニ目メヲ暮クハ十歳ジュウノ童コタルヘシ長チカ生カノ



後モ國郡ヲ治シ事叶ヘカラス。七歳ヨリ内ニテモ  
アシ。兵法小弓歩行早走タルヘシ。往昔ノ物語  
モ古實有事ヲノミ聞ヘシ。常ニ賢ニ親シテ賤モ  
心ヲ寄ヘカラス。口傳有之。

○又十歳ニアリナハ。巳前ノ嗜ノ上ニ。諸人ノ物謂  
ト行ト合ト不。合ト善ト惡トヲ見聞。口ヨ。其身愚  
ニシテ。善惡ヲ辨ズ。バ。智ノ長タル人又ハ師ニ向テ竊ニ  
是ヲ問ヘ其ノ名ヲ顯テ問ヘカラス。人ヲ指頭則ハ  
惡事生ズル事余多有ヘシ。二ニ。佞好有二。問則ハ。親ニ  
依バ。惡ナルヲ善ト云テ。又分明ノ答ナシ。疎ニ依ハ善  
ナルヲ惡ト云テ。又分明ノ答ナシ。或。少惡ヲ大災

ト教ルモノ也。是ニヨリテ善ト惡ト邪ト正ト迷モノナリ。二  
ツニ。諸人ノ善惡ヲ云則ハ。恨ア。夕出來モノ也。三ツニ。諸  
人ニ親シ。モ。疎ニスレハ。恐ルモノ也。此等ノ三ツヲ始ト  
シテ。惡事多生ズル物也。心ノ奥ニ隱テ。二六時中ニ  
諸人ノ言ト行トノ合ト不。合ト邪ト正ト善ト惡ト  
虚ト實トヲ了知。心ヲ怠ス思ヘシ。少モ疎々ト見  
聞スベカラズ。角ア。ハ。自然ニ智モ出來テ。他ノ賢  
愚ト。邪正トヲ知。自ノ謂ト行トニ。愚ナル事ハ  
ナキ物也。口傳有之。

○貴カ。謂ト行トノ事ハ。申ニヤ。及野ナルガ。謂ト行  
トニ。モ。心ヲ入テ。其品々ノ善ト惡トノ。勝劣ヲモ

知ント思ヘシ。少モ心ノ行ニ怠疎々トシテハ人ノ司  
トナラサルモノ也。此故ニ家子、弟等ニ常ニ親別ニ  
其謂ト行トヲ見聞セヨ。器ト非器ト邪ト正ト慢  
侈ト重欲ト善惡トノ勝劣比皆能知モノ也。人ハ  
謂モ行モ皆善ナルモノナク。皆惡ナルモノナレバ中ニ  
五ツ善アツテ。五ツ惡アルハ尋常ノ人ト知ヘシ。十カ  
中ニ六ツ善ナル事ソルハ凡善ナル人ナラント知ヘシ。十  
カ中ニ六惡ナル事有ハ善人少キ人ナルヘシ。口傳有之  
又心得アリ又ヘシ。十カ中ニ九ツ善アリトモ。一ツノ太  
惡アラハ何カロシ。是ヲハ大ニ禁スベシ。  
○太惡ハ凡七ツノ不義トモ云ナルツ。一ニ不忠。二ツ

ニハ侈。三ツニ不直。四ツニ重邪欲。五ツニ虚言。六ツニ  
盗。七ツニ佞奸ノ人也。此七ツハ別ニ一也。一ニシテ  
別也。口傳有之。七ツノ不義ノ中。一ツヲ行モノハ七ツ  
ノ不義皆有ヘシ。七ツノ不義アル者ハ一切ノ無道  
ヒトツトシテ闕ス。故ニ九ツノ善事アリトモ。七ツノ  
不義一ツアラハ。九ツノ善ハ上部ノミナラシ然  
ハ。奸佞ヲ行ナルヘシ。自然實ニ九ツノ善アリトモ  
何カロシ。此外ニアミタノ心得アリ。口傳有之。  
○又親ニ孝ナク。類業ヲ親ニモス。奥ノ心ニ慈悲  
ナカラシ者ハ必不忠ノ行跡アルヘシ。一ツノ恩ヲ知  
サルハ。一切ニ渡ハナリ。故ニ恩ヲシラサルモノニハ七

フノ不義必アリ 口傳有之

○七ツ不義少モアル兵ニハ恩ヲ與ニ少カレ。縱將ノ  
器アリトモ將ノ任ヲ與サレ。諸司ニフセサレ。其威ヲ  
奪テ。推ヲトラセジガ爲ナリ。風聞異朝ニ仲達  
アリ。和朝ニ其類今古多シ。其理ノ深キ奥ヲ  
能覺スヘシ 口傳有之

○又愚ニシテ義ト不義トヲシラスシテ行有又  
不義ノ少アル者アリ。此等ニハ常ニ文ヲ談シ諸  
道ノ正理ヲ聞シムル時先非ヲ悔テ。不義ノ心行  
戒スル事アルモノ也。是ハ生得ハ心直ナレトモ濁世  
ニ習テ。一往心ニ不義アルモノ也。直ナル世ニハ。ガカリ

タルモ直ニナリ。濁ル世ニハ直ナルモ曲リト云事。古人  
ノ余多云置ル事也。此理ニヤ。カクノユトクミテ。彼等  
不義ノ先非シモ悔サランニライテハ。忠アリトモ大恩  
ヲ與ヘカラス。不道ノ心アラシ者ハ。大恩ニ誇驕生ジ  
テ。政道ノ邪魔トナリ。國ヲ覆。家ヲ失。後ニハ世ヲ  
奪モノ也。心得ヘシ 口傳有之

○又強ニ七ツノ不義アラン者ト又文ノ意ヲ了  
智シテ。不義ノ心アラシ者ハ。國ヲ亂。家ヲ失ノ  
根也。大ニ禁スベキ事也。此等ヲ兼テ了智スルニ  
心得有。学文ノ譽アラシ人。七ツノ不義一ツ有ハ  
生得ニ大ニ心ノ曲タル人ト知ヘシ。道ヲ知ナカス。不義

アレハ也。強ニ政道ノ障トナリ。國家破ノ端トナレ  
事多シ。其故ニ愚ナルガ不義ハ世人是ニ心ヲヨセ  
ス。ソレサヘ惡ニ移安ク。善ニ順ニクキ理アレハ大惡  
キモノゾカシ。益テ学智ノ譽有人ノ不義ナルハ諸  
人は是ニ馴テ。自然ニ不義ニナルモノ也。此人學智ヲ慢  
ジテ。心ノ私曲ヲ曉セス。又世人崇敬スル故ニ侈テ  
心ト行跡ト謂トノ不義アルヲ忘タル成ベシ人ノ司ト  
成一人是ヲ近付テ親且バ政道自然ニ目ヲ追テ邪  
曲ニ成。又諸人ノ万惡雲ノ發ガユトクニシテ。損害斷  
ヘカラス。久カラスシテ國家ヲ失ナシ。強ク是ヲ禁スベシ  
○二十歳ヨリ中ノ若者共此等ノ心ノ学智ニ親テ。弟

子ト成鈔ヲ学スルトキンハ皆師ノ心行ト行跡ト  
等クナルモノ也。鈔ヲ学ストイヘトモ。鈔ノ奧義ヲ  
我心ニ執行ントハセ又物ナルゾ。世ノ人多ハ愚ニシテ  
此理ヲハ辨サル故ニ学ノ譽有ノミヲ取テ。其心行  
行跡ノ直ナルト曲ルト正ナルト邪ナルト義ナルト不義  
ナルトヲ見ズ。誠ニ愚ニ誤成ベシ。口傳有之  
○異國本朝ニ古人ノ云置タル中ニ此事多シ。能  
深理ヲ味ヘキモノ也。又学藝ニツノ譽ヲ。世人ナ  
テ善トスル有。此虚實ヲ了知スルニ善惡ニツノ  
品アリ。其善ヲ云ハ。生得ノ才有テ。咄目テ自ノ不道  
ヲ禁シ。行跡ト謂ト和シテ言語少。云毎ニ仁義

五

ノ道有テ。非少バ。行跡モ亦此ニ同カラン。濁世  
ニ稀成シカ。又惡シ云ハ其謂ニ仁義ノ道有テ  
行跡ニハ。横邪ノ欲有。外ニ和有テ。内ニ又曲  
アリ。富人ヲ諂強非アルヲモ是ト云。弱成ガ是ヲ  
非ト掠言語時々ニ替テ。親疎又定ラス。物毎ニ  
表裏各別ノ事ノミ多シ。是大ナル奸ノ一ツ也  
奸ノ中ニモ。智ノ少有人ナルベシ。奸佞ノ有人ハ政  
道ノ障ト成。國家ヲ覆事。七鈔ニ顯然夕  
レハ語ニ及ス。品余多有ヘシ。口傳有之  
○奸ハ愚ニシテ佞ハ智ノ深也。共ニ邪也。正ニハアラス  
奸ハ政道ノ障ト成。劣。佞ハ政道ノ邪魔トナル

事大ニ勝タリ。佞奸ノ人ハ七ツノ不義ノ闕ス有ノミ  
ナラス。一切ノ邪曲ノ心行一ツモ残ズ。皆有ヘシト心得ヘ  
シ口傳有之  
○又實ノ善人ニ。善人ハ親シテ集。惡人ハ嘲テ去ト云リ  
濁世ノ風俗善人ハ稀ニシテ邪曲ノ人ノミ多ケシハ實  
ノ善人ニハ衆人多集ル。古又アラシ。然レトモ。其人ノ  
心行ノ才ニ依テ衆人ノ集ル事モ有ナシ。口傳有之  
○衆人集テ善惡ノ人共ニ讚ハ多ハ奸佞ニアリ  
ナシ誠ノ善人ハ往古ニスラ稀ナリ。口傳有之  
○凡濁タル世ノ人之毀譽ハ善惡理非ニ寄ス  
少ニテモ已ガ心ニ相又ルヲハ讚少モ已ガ心ニ違

又ルズバ毀モノナルゾ。是ニヨツテ譽毀事時々カハリ往古ノ人之毀譽ハ古よりニ替リ。道ヲ以貴モツテニ大ニ違タガヒ又ル也。口傳有之。

○亦知淺ケレバ奸顯安ク。知深ケレバ顯ガタシ

○或人ノ智ノ淺深ハ又知ントスル人智淺深ニヨ

ルベシ。今ノ世ニハ眞愚ノ人ノ多クケレバ奸人ノ智

ノ淺深ニヨルベシ。智若拙ケレバ忽ニ顯テ人輕ク

思モノ也。顯ガレバ在人重クスルゾ。此人國ヲ破ノ

端ト成モノ也。大ニ禁スヘシ。口傳有之。

○此等ノ不義ヲ禁スルニ心得余多ク有ヘシ。當

罪ハ少ケレドモ或奸佞有。又ハ不義アルハ是

國ヲ破家ヲ覆ノ根也。罰セサラニ於ハ國忽ニシイテ亂ナント。諸人ノ中ニテ是ヲ宣ヒ奸佞不義ノ證シラヲ顯シ。時白ヲ指事或一ツ亦ハニツニシテ禁罰キンバツスヘシ。罰ハ其不義ノ淺深ニ寄ベシ。口傳有之。

○往古ハ國主。佞奸不義ノ者ヲ親シラ也。少モ直ニ無欲ノ者。又ハ礼義ノ正忠功ノ者。實有者。孝行ノモノヲ賞シ親シ。又其身ニ不義ノ行ナケレバ自然ニ義者ハ進。佞奸不義ノ者ハ去ニキ。今ノ世ニハ罰シテサヘ猶去ガタシ。心得ウケ事ソカシ。口傳有之。

○又少モ直ニシテ義ノ行アラハ大ニ是ヲ感スカニ。

國也

ニ



諸人ノ中ニシテ其理ヲ談シテ是ヲ賞スヘシ賞  
ニ又品アリ。義我ト善トノ淺深ニ依テ輕重ア  
ラシ又向討ノゴトクニスヘシ。賞ト罰トハ車ノ兩輪  
ノ如シト云置シハ此謂ニヤ。口傳有之

○又何ニ他ノ善惡ニ依テ賞ト罰ト正ストモ己カ  
心行ニモツノ不義有テ。慈悲ノ心ナク。邪欲深ク臣  
下万民ヲ憐ム心ナクハ。佞奸等ノ不義ノ者ハ去  
カラス。上宮大字ハ有司ノ者ニ邪少アレハ下民ナ  
ヘテ大邪惡ノ人ト成モノ也。君ハ躰臣下ハ蔭ナリ。  
臣ハ躰民ハ蔭ト宣シ。今ノ世ニ猶以誠トスヘキ事  
也。往古ノ人ハ此心ヲ受テ躰直ニシテ蔭ノ曲タル

事ナク。君ノ行跡政道正シテ。万民ニ邪曲ナシト云シモ  
理ナクナリ。是又古今トモニ誠トスヘキモノ也。此事ニ心  
得有ヘシ。往昔ハ國主ノ謂行跡ノ直事計ニテモ  
國ノ治リタル莫有シ。上下万民皆耻ヲ知タル故  
ニ亦少ムハ耻ヲ思ハズアレドモ。水ノ器ニ隨。麻ノ中ノ  
蓬ノ直ナルガ如。自然ニ直ニ成シモヤ有ナシ。今ノ世ニ  
ハ耻ヲ悲人希ニテ有ナシ。天ニ誠スバ。國ノ治事有  
カタシ。益テ國主ノ心行ト行跡謂政道等ニ少モ  
邪曲アツテハ。下民ノ無道少モ止ヘカラスト心得ベシ。  
最治リガタキハ。今ノ世ノ風俗ナリ。口傳有之  
○亦セツノ不義一切ノ邪曲ハ皆愚ヨリ生ス。愚ニ

テ諸道ノ奥義ヲ了ザレハ也。又文学ニ任テ鈔ラ  
談スルノ類也。又諸道ノ奥義ヲ明ザル有。又談  
言葉巧ナル様ナレドモ。深心ヲ談ビズ。異言ヲ説  
ニ誤有。又自ノ心行ニ非有。此等ヲモ愚トスルモノ  
也。聖人ノ奥旨ニ昧ケレバ也。亦道ヲ知タル人心  
ノ行行跡道ニアラザルモ有ナン。道ニ叶ザル成レハ心  
カ道ノ奥義ニ至サルハ愚也。又一文不通ニシテ。  
一向ニ愚ナルモ多シ。云ニ足サル所也。愚ナレハ慮ナ  
キ故ニ後ノ禍ヲ顧ズ。此故ニ心行ト謂ニ邪曲多シ。  
亦侈テ耻ヲ忘。慮ヲ忘テ。邪曲ノ行跡謂ノ多キ  
モ有ナン。或ハ慢ニ。或ハ欲ニ。又ハ女色ニ慮ヲ忘テ

一切ノ不義有ナン。慮ヲ忘ルハ皆以愚ニ非スヤ。其  
外品多カルベシ。口傳有之。  
○凡諸道ノ要トスル所ハ。自他災禍ナクシテ。安  
樂ナラシメンガ爲也。上トシテ下ヲ憐ニ。下ヲ憐ニ  
アラス。下ヲシテ忠ヲ成シメント思所ニアリ。自他ヲ  
親シテ愛和ヲ施ニ。他ヲ親スルニハ非ス。他ヲシテ  
シタレウセラシメンガ爲也。一人諸人ヲ憐ニ。万民ヲ  
シテ忠ヲ成シメント思ニアリ。國主萬邦ヲ禁ス  
ルハ。國中ノ諸人ヲシテ。安樂ナラシメ。國ヲシテ  
長久ナラシメン故ニヤ。上下ニ寄ス。他ヲ忘テ。自  
ヲ深ク思ハ。諸人自死ヲナス。此故ニ每事ナラ

サルモノ也。稀ニ成事アレトモ。浮ル雲ニ喻タリ。久カ  
ラスシテ。モルモノナルゾ。自ラ深ク思則。諸人ノ心ニ違  
モノナルゾ。万民ノ心ニ違ヌルヲ以。無道ノ其一ツトハ  
云ナメリ。此等ノ事ヲ知テ。國ヲ治ベキ事ナリ

口傳有之

○亦恩ヲ知ザル者ヲ強ニ禁スルハ此理ニヤ。人  
司タラシ者。鈔ヲ学シテ。此心ヲ智シテ。心行ト  
謂トニスベキモノ也。セツノ不義ノ者ヲハ。強ニ禁セ

ヨ口傳有之

○佞奸ノ者ヲハ。殊ニ是ヲ禁セヨ。亦奸ヲ知ニ心得  
アリ。富ク大人其外ノ諸人ニ會シテ。和有愛有

ハ人倫ノ礼也。愛和過ルハ奸也ト知ヘシ。又諂テ愛  
和ヲ行ハ奸ナリ。其謂ニシテ知事有。又其常ノ行跡ト  
謂ニテ知事有。口傳有之

○凡奸ナル人ハ。十ガ中ニ九ツハ勇ナキモノトカヤ。自然ニ  
勇ノ行跡アルモ。思結タル事ナケレハ。血氣ニ順スル物也  
當尔ニ如何ナル強ノ行跡有テモ。思結タル事ナキハ皆  
血氣ノ勇也ト知ヘシ。又佞ハ奸ヨリハ。智惠深ク。愛  
和少ケレハ。重々敷様也。大人富人ニ愛和有テ。貧  
賤ノ人ニ向テ愛和ナシ。諂ノ心深大ニシテ。是ヲ能隱  
セリ。蜜ニ愛和ヲ以セリ。世愚ニ向テハ。道ノ趣ヲ説  
ニ邪曲多シテ。自ノ利ニヨビ。言語時々ニ替。言葉

十行ト大ニ異也。少ノ利アルハ親ヲ捨。今ニテ多兼ヲモ  
俄ニ親ス。事ヲ左右ニ寄テ親兼ヲ替タリ。少モ智  
ノ有ニハ。自ノ非ヲ云セシガ爲ニ賊ヲ與テ昵ヲ親ス。其  
外ノ曲事等ニ教猶盡ス。聖德太子宣邪曲ニ立身  
ヲ身行テ他ノ咨ヲ省ス。此故ニ又邪智アリ。此ヲ倭  
ト云ト宣シ。是ニテ心得ヘキ也。口傳有之  
○此等ノ人ヲバ大ニ禁スヘシ。又勇武強ニアルハ國ヲ  
奪ノ端タルヘシ。セツノ不義其外一切ノ邪曲ヲ兼テ  
知智スルノ道也。心得ヘシ口傳有之  
○亦上トシテ下ヲ憐ノ心少シテ下ノ不忠邪欲倭奸  
等ヲ罰スル事ナカレ。以下ヲ憐心少シテ下ノ不忠ノ

罰スルハ非也。上ニ邪曲ノ心行アツテ下ノ倭奸ヲ罰  
スルハ非也。上ニ欲深シテ下ノ邪欲ト盜ヲ罰セントス  
ルハ非ナリ。上ニ重邪ノ欲少モアルバ下ノ欲ハ盜アルニ  
過ル事莫大也。口傳有之上ニ重邪ノ欲アルハ奉行頭  
人ニ又重邪ノ欲アル事或ニツツ益ニツツ益  
○上ハ驕テ下ノ侈ヲ誠ガシ。一切皆然也。此等ノ事  
細クト辨テ。萬ニ心ノ怠ナキ行ヲ智ト云。万卷ノ  
鈔ヲ讀其理ヲ談スト云トモ。此等ノ事ヲ濃ニ  
辨スニハ。智者ニハ非ズ。一父不適ナリト云トモ。コシ  
テノ事ヲ辨ルハ智者也。又辨ルト云トモ。行スニハ君  
子ニアラス。又行ント嗜ト云トモ。能ワキニハサレハ

恩也

十一

誤多し。是又國ヲ治ノ器ニアラス。能辨テ行ハ君字也。國ヲ治ノ器也。是每事ニ用ヘキ事ニヤ。二六時中ニ少モ忘ル事ナカシ。人ノ司タラシ者十二ニヨリ此事ヲ嗜バ。二十歳ヨリ每事品々ヲ知ヘシ口傳有之。○又七ツノ不義ヲ兼テ知復ハ常ノ行跡ト謂トノ忠不忠ヲ知ヘシ。假令ノ謂ニモ。至ノ事ヲ親云サハアリ。心ニ忠ナキガ故也。是一ツ。少キ恨ヲ立テ先ノ大恩ヲ忘シ。諸人ニ向テ至ノ非ヲ語。是般ノ者ニ何真實ノ忠有ニヤ。是二ツ。奉行頭人臣下ノ行跡私ヲ專トシテ。至ノ事ヲ次ニス。此以人何ソ實ノ忠アラシヤ。是三ツ。亦諫ヘキヲ諫ス。當時至ノ意ニ同セシ事ヲ取

專トス。奸有テ慮ナキガ故也。又慮アラハ倭有ナニ自ノ榮ニ事ヲノミ思テ忠心ハ少モナキモノ也。是四ツ。又臆病シタル者ノ耻ヲ知サルハ五常ノ道ヲ知ス。知テモ嗜サル者不孝ノ者ハ誠ノ忠ナキモノニヤ。是五。次ニ欲ノ深キ者ハ欲義ニ勝。忠ニ勝。耻ニ勝テ諸道ニ勝。故ニ善道ヲ破ル者ナリ。此者ニ何誠ノ忠有ニヤ。又上節ニ忠ヲ云テ奥ノ心ニ忠ナキモノ有言語ト行跡ト別ナルモノアリ。是ヲ以知ヘシ。是倭奸也。倭奸ノ者ニ實ノ忠有ハナシ。是六ツ。血氣ノ躁々シキ者ニ誠ノ忠ナシ。是七ツ。喧嘩スキシテ又行不定ノ者ニ忠ナシ。是八ツ。口傳有之。

○後ノニツノ者ハ自然ニ忠有事モ有ヘケシトモ實  
ノ忠ハナキモノ也。實ノ忠ト云ハ一命ヲ捨ハ血氣ニ  
モ有ナシテハ物ノ数ニテ又数ナラス。身然ニテ  
忠ヲ忘ズ。心金剛ノ如變モサルヲ云ト也。當余ニ  
忠アツテ。数年ヲ經テ忘ルハ一往ニシテ血氣也。  
實ノ忠ニアラス。此故ニ誠ノ忠ノ有者ハ異國ノ  
往昔ニモ其類少カリシ。益テ本朝ニ猶多カラ  
ズト也。心得ヘシ口傳有之  
又思ヲ知サル者ニ誠ノ忠ナレ。一ヲ以萬ヲ知  
心。常ニ忘ヘカラス。口傳有之  
○又島等ノ忠ト不忠トヲ知ント思ハ親近付テ

常ニ其行ヲ見ヨ。又語ヲ聞ケ。常ニ比ニ心ヲ付テ  
見見則明鏡ニ万像ノ浮カ如シ。親ク近付スハ  
争カ是ヲ量ニヤ。國都ヲ治人ノ司ト成シ者ハ少  
モ身ヲ安シ。油断ノ事有テハ。カノ悪キ事ノミ出  
來者也。心得ヘシ口傳有之  
○濁ル今ノ世ノ風俗ナレハ。誠ノ忠アルモノハ。百子ノ中  
ニモ有間數ケレトモ。將ノ謀才ニ依テ皆一往ノ忠  
者ニ成ナズルゾ。常ニ忠ノ者ヲ賞シ。少モ不忠ノ  
行跡ヲ贖善ノ理シ。招キ。和惠ヲ退ルハ。古ノ法ナ  
レバ云ニ及ス。古人曰。天下ハ一人ノ天下ニ非ス。天下ノ  
天下也。國ヲハ一人ノ國トス。ヘカラス。國ノ國トスヘシ

家ハ一人ノ家ニ非ズ数代ノ家ノ家也心得ヘシト也古キ  
詞ヲツテ今ノ世ニ相當スルニ古ノ義ノ上ニ別ニ義  
有ベシ國ノ事大小トモニ諸人ニ評ジ合テ其善ニ付テ  
行ヘシト入トシテ討ベカラスト人ノ國ニアラサレ也  
角アレ諸人ノ事ノ出來度毎ニ我國ノ事ナリト  
思故ニ往ノ忠志出來物也又衆人ノ中ナレハ自  
然ニ能謀出來モノ也又衆ト好悪ヲ同スル道ニ  
モ成ナレシ深キ心有口傳有之

○國ノ事ト人ノ計タルトキニハ大事ノ出來時衆人  
皆我大事ト思ハ又モノ也是故ニ忠ナシ今ノ足利直  
義ノ評定ヲ傳閱ニ人ノ善事ヲ云フハ用ス我云

所ノ義ヲハ或劣又ハ悪ケレドモ立給ト也又人ノ能  
義ニ隨給ヘドモ其義ヲハ惡シト嫌良暫評定ア  
ツテ以前ノ人ノ能義ヲ少詞ヲ替テ品ヲ少加  
テ直義ノ仰トアツテ評定ヲ決セラル由風聞シ  
人ノ口ニアリ世中ノ奸ハ皆然地上ニ角奸心アラシ  
ニ下亦豈奸ナケヤ萬ニ當テ心得ヘキ也口傳有之  
○正成ハ然ラス評定ノ度毎ニ某カ申出シタル義  
成トモ當家ノ人々ノ中ニ少モ佞タル義ヲ宣ア  
レ某カ義トモニ皆其人ノ義ト申成候ヘニ耳  
アレハ此又一言コソ其人ノ義ナレドモ余ハナヘテ正  
成カ義也ナント沙汰仕由傳テ兼候ツレ又ソノ

人々ヨリ無言シテ其身ノ云出セル義ノ様ニ思ル、  
モ有。又謙下テ此一言コソ思寄テハアレトモ左ニテ  
ノ深キ所存ハ想像モ無リシ。余ハ正成ノ能コソ尙  
有ツレナント申モ有サレバ正成身ニカリテ後モ頭人  
評定衆ヲ集テ其事々ヲ評定シテ法ノ如礼ア  
ツテ其能義ニ付テ小事タリト云トモ行給ヘシ。  
亦我申義ヨリ人ノ義ノ能ガアラバ勿論ノ事人ノ  
義ニ付ヘシ。我能義ニ少作タル有トモ我義ノ大  
ニ善ナルヲ人ノ義ノ少善ナルニ加テ人ノ義ト号シ  
テ事ヲ執行給ヘ心得余多有口傳有之  
三ハ前ノ如ニハ国ヲ奪サルノ謂也。三ニハ謀ニ悔

少。四ニ誤アレバ諸人ノ誤ナルガ故ニ世至ノ非ヲ  
揚ス。五ニ或ハ耻又ハ嗜テ云スル故ニ私曲也。シ  
又入トシテ計又レハ始ハ嗜トイヘトモ。後ニ嗜モ忌  
心ニ修生シテ私曲多有。是ヨリ無量ノ惡事ハ生  
ズルモノ也。心得ヘシ口傳有之  
○又諸人ノ勇臆ヲ知事。將タル者ノ身ノ要ト  
スル所也。勇武ノ業ヲ成シメテ其行跡ニテ勇臆ヲ  
知ト云事ハ尋常將タル人ノ皆知所ナレハ云ニ及ス。受  
ニ相テ臆シ合ガル前ニ臆スル有。色ノ變ズル。詞ノ前  
後ノ相違ト息次ノ遅速ト調子ノ同ト不同ト。甲  
トシト五射ノ揮ト此等ノ事ニテ臆ノ勝劣知モノナリ



五將ノ揮ト色ノ變ズルトハ太臆也少變ズルハ少臆也  
但事ノ大小ニ寄ベシ次第余多有事也口傳有之亦人  
ニ少モ臆アラサル稀也生得ノ勇者ハ百千人シテ希  
ト云アルモノ也生得ノ勇者ニモ事ニ寄品ニ寄テ。面色  
ノ少變ズルハ有モノゾ。口傳有之。又臆病ハ病ナレバ除又  
ベシ。但是ヲ治スルニ藥ナシト見タリ。少臆アルニ八九寸  
ノ利ヲ安ズ。利ヲ俛ニ知又レバ免ル。能氣ヲ加テ是ヲ  
保ハ士也。當法四有能故ニ面ニ天ニ利アルヲ以スル故也。仁  
ハ誠ニ傳也。毎朝能無則臆ハ自然ニ止テ。心恐動ス。將  
兵共ニ用ヘキ事也。是モ心疎トシテ。心恐動シ。又色ノ  
變ズルナンドハ治スレドモ。臆病ハ治セズト傳テ有  
有レマ

若キ兵ノ始テ戰場ニ出テ臆スル有サレハ幼童ノ  
時ヨリ二十歳或二十四歳ニテハ。高位ノ坐ニ出テモ  
臆スル有。出坐ノ度重ハ。臆ハ減スルモノ也。敵ニ合  
度重ハ勇ニ成モノ有。此等ハ上部ニ少臆アレドモ  
臆ノ心ハ勇ナルベシ。始ノ上部ノ臆ハ。若シテ勇ノ未  
顯ガハナルベシ。口傳有之  
源義家朝臣ハ初臆後勇ノ兵ト宣シトニヤ。亦  
サ四五ニテ勇有テ老又ルニ隨テ臆スルアリ。前ノ理  
タルベシ。又三寸四五歳迄勇ノ氣有テ。道ニアラス  
シテモ。丁命ヲ捨事ヲ輕クセン人。四十四五歳ヨリハ

ハノ勇ヲ失スル有。老テ氣モヲト只行故ニ勇モカ  
クゴトクナルニヤ。此等ノ人ハ奥ノ心ニ勇有ハ定テ死ス  
ヘキ圖シハ道ガルヘシ。亦生得ニ奥ノ心ノ臆シタ  
ルト。義ナキトハ道ニジキ所ヲ道テ指頭ノ笑  
シ受者也。口傳有之。

○平将門ハ三十一歳ヨリ中ノ兵シハ臆ノ行跡  
有テモ。三度ニテハ免シタリ。四度ニ成ヌレバ  
武ニ用スシテ曰。以前度々ノ不覺ヲ悔ス。復  
臆ノ行跡アラシキ者。武ニ於テハ何ノ用ニカラン  
生得ノ臆シタル者成ヘシトテ。別ノ藝アルハ其用  
ニノミ遣ヒト也。理ニ覺タリ。今以用ヘキ古ハナリ

四度ノ戦ニ皆臆有テ。一度モ勇ノ行跡ナクンバ  
武ニ遣ヘカラス。口傳有之。

○又戰場ニテノ剛。臆場ニ寄敵ニヨリ。軍ノ強弱  
ニヨリ。時ノ宜ニ隨テ行跡ニ。人自ニ。臆シタル兵ノ行  
跡カナト見ユルモ。謀トナル事アリ。又大忠ト成事モ  
アリ。義有モ勇有モ不忠トナル事アリ。將タル者忠  
ト軍ニ勝ヘキ道シトツテ。義ト勇ナルヲ取ヘカ  
ス捨ヘカラス。奥ノ心ノ勇ナルガ角アルハ軍ノ謀ヲ  
知勝負ヲ曉シテ。勇ヲ振舞ハサル成ヘシ。是ハ將  
ノ器アツテ亦忠有。故ニ自ノ高名ヲ次トシ。忠ヲ  
專トヒシ者ナルヘシ。大ニ是ヲ感シテ。賞ヲ行ヘシ。亦

生得ニ奥ノ心ニ勇ノ次ナルカ此行跡有ハ自然ナリ  
 誠ノ忠知カタシ又奥ノ心ニ勇ノ次ナルカ生得ノ才  
 智有テ單ノ法ヲ心得タルカ以前ノ行跡有ハ少  
 ハ忠モ有ナニスレバ大ニ是ヲ感ジテ賞ハ先ノ次  
 ニスヘシ常々ニ郎等ヲ親ク近付テ奥ノ心ノ  
 臆ト謀ト不謀ト忠ト不忠トノ淺深勝劣ヲ知  
 スニハ何ヲ以テカ分タニヤ口傳有之  
 ○常ニ郎等ヲ親ク近付テ其心ノ奥ヲ知シテ  
 思サヘ將ノ愚ナルハ誤多シテ或ハ義ト忠ト謀  
 ト勇武ノ士ヲ失事異國本朝ニ古來ヨリ多  
 処也大ナル損ノ上ニ大ナル耻來物也口傳有之

○將ノ智ト愚ト邪ト正トノ行ニ依テ角損ト耻  
 ト譽ト國家ノ己ト榮ト有モノヤ凡此一事ニ限  
 ラス諸道ノ行比自以然地人ノ司タラシ者ハ心  
 得ヘキ事也口傳有之  
 ○此等ノ勇臆ハ古來ヨリ申傳之所也諸將  
 誰カ此理ヲ知サラン今正成古ノ道ヲ本ト  
 シテ思合タル品々有凡勇士ノ三相ノ事ハ古  
 ノ良將ノ宣置シ支ナレハ何ニヨツテカ誤ハア  
 ルヘチナレトモ思加タル事有一ツニハ義ヲ深ク  
 考テ每度ニ恐動ロストナリ最是等ノ類ニ  
 勇ナル多シ然レトモ其力見及所カクコトク

行跡ノ人ニ定ル死ヲ遁貳キ振舞ヒシモノ多シ  
其等カ分節ヲ今ヨク思ニ奸ニ少ク智ノ過タル  
人ツカシ上部ニ少仁義ノ道ヲタシナム様ニ見  
レシカトモ底ノ心ニ邪欲ノ深カリシ人ノ智ノ  
分限ヲ能窺知テ正智ナル義ノ趣所ヲ述テ  
人畧クニ愛和ニヨレテ論弱シ曲テ強ニ隨  
愚ナルヲハ滅シテケリ正成モ三十歳ノ内ニテ  
ハ是ヲ見テモ知サリシ和有テ恐動ナケレバ  
勇ノ相有ト思レ是人毎ニ急ナルニ望テ定死  
ヲ遁タルヲ見テ後ニ思合レバ倭奸ノ人勇ノ  
三相ヲ関テ偽嗜テ化タルニテコソト思ツシ誠

ニ知悪キ事也凡常ノ行跡ニ能心ヲ付テ見ハ知ヘキ  
事ソカシ年ヲ經ヌレバ必知ヘシト心得ベシ但其將ノ智  
ニ寄ベシ賢カラシ將怠ナク見ント思ハ何ソ知事ノ  
有ヘキ事ナレトモ將ノ奸倭ノ智ノ勝劣ニ寄ヘシ  
レキ哉倭奸ノ人ノ偽ルヲ覺サルハ敵ノ謀ニモ落ヌ  
ベケレバ將ノ愚ノ程顯然タリ口傳有之  
○上代ハ人ノ智モ賢ク又倭奸ハ少ク仁義ノ人  
ハ多ケレバ恐動セ又計ニテ誠ノ勇モ多カリケヌ  
今ノ末世ニハ仁義ハ次第ニ少倭奸ハ日ヲ追  
テ多カラズレバ將ノ亦智モ上代ニハ劣ナラシ  
ズレバ少モ怠アラバ奸倭ノ人ト仁義ノ人ニ迷

スル事疑ナカルベシ。佞奸ハ法ヲ亂スノ元亡國ノ  
根也。大ニ禁スベシ。口傳有之。  
○濁ル末ノ世ニハ。佞モ少クテテ奸ノミナラント量  
ルベシ。少事ニ奸。佞有ニ人。何ゾ大事ニ義ヲラシ  
ヤ。小ニ邪欲有ニ人。大ニ猶益ク邪欲有ニス  
クナキ忠賞ニ侈アラシ人。大ナル忠賞ニ何ゾ侈  
ザラン。又生得ニ勇アル人。欲ニ侈ニ佞奸出來  
テ。仁ト義ト忠トヲ忘テ。定死ヲ遁去有。臆シ  
タルニ同。又欲ニ侈ニ佞奸ニ義ト忠トヲ忘テ。隱謀  
ヲ企テ。大逆ノ行ヲ成アリ。謀ニ勇ナルホド。大敵ニ非  
ヤ。如何ニ勇ナリ共。邪欲深ク侈強。佞奸ノ心行

アラハ。大ニ禁スベシ。威ヲ抑ヨトゾ。益テ事ノ司トス  
ヘカラス。此事國ヲ治臣ヲ遣ノ第上ノ要也。忘シ  
給事ナカシ。欲義ニ勝則礼法破。礼法破則ハ國  
家久カラスシテ亡ブ。義欲ニ勝則ハ礼法正。礼法  
正ケレハ國家安全也。如何ニ勇ナリトモ。万藝云有  
トモ。又將ノ器有トモ。邪欲奸佞アラハ。何カセシ  
心得ベシ。口傳有之。  
○又佞ナルハ生得ノ勇ノ相ハナケレドモ。佞智アル  
カ故ニ嗜テ。每度ニ恐動セサル有。危急ナル時ハ  
本ノ勇臆顯ヌル物也。又智アラシ者。常ノ謂ト  
行跡トヲ見聞セバ。知ベキ事ゾカシ。又佞奸ナリ

義士生得ハ勇ハ勝ザレトモ此三相ヲ関テ嗜テ志  
動セザル有。自然ニ勇モ益モノ也心得ベシ。口傳有  
○又生得ニ直目ナルハ。謂ニ奸ナシ。行ニ横邪ナシ  
問サレハ答ズ此人ハ十ガ中ニ六ツ七ツ勇ナル物ゾカ  
シ。謂ニ奸アラハ臆ナリト知シ。奸アル人ニ勇ノアルハ  
千ガ中ニ二ツ二ツモ有カタシ。自然ニ勇有モ。三ツ  
當余ノ勇ニシテ血氣也亦此人ノ謂ト行迹ニ勇ノ更  
アラハ勇有ト知ヘシ此人ハ偽ノ嗜ナキ故ニ勇モ臆モ  
知安キモノナルゾ。行ト謂トニ常ニ心ヲ付ハ尋常ノ  
愚將モ勇臆ヲ能知ナシ。謂ト行跡ト。一度ニ度  
ニテハ。剛臆ヲ思定ヘカラス。四度又ハ五度ニテ思

定ヘシ口傳有之  
○又此人行ニ物強キ事アラハ必勇也物弱ヲハ  
勇ナキゾト知ヘシ偽ノケレハ也又倭人ニ誠ノ勇  
アルハ希也自然ニ勇アルモ血氣也又ハ倭勇ト  
テ別ニアリ。古來ヨリ申傳レ所也。口傳有之  
○亦侈有人時メク人ハ勇アルニ倍タルモノ也又時  
メカス。侈サルガ行跡ト謂ト天然ノ人相ニ勇ニ見  
ユル有。愚ナルハ真偽ヲ知安ク。智ナルハ如何ニ  
モ知カタシ又嗜ノ深ト淺トニ依テ知安ト知  
カタキト有モノ也。是モ常々ノ行ト謂ト行跡ト  
合ト不都合トヲ以知モノ也。能心ヲ付サレハ

カタシ。但將ノ賢愚ニ寄ヘシ。亦此人勇ヲ嗜ム云  
トモ。生得ニ臆ノアルハ。謂ト行トノ端々ニ臆アル  
モノ也。一往ハ勇ヲ云。又行ト。他ニ威サレテ。即時  
ニ變スル事多モノ也。亦勇ナルハ。奥ノ奥ニテ。心行  
ノ臆ニ變スルハ。希ナリ。又變スル事アレトモ。心行ト謂  
トニ臆ハナキ物也。口傳有之。  
○亦邪欲ト侈トアラシム。仁ト忠トハナキ物也。  
ニツノ物アラハ。縱勇有トモ。仁義ノ勇ニアラズ。生  
得ノ勇也。又ニツノモノアラハ。忠ハアラズ。忠ナクハ  
事ニ莅テ。至ノ爲ニ命ヲ控クセンヤ。然ハ臆シタル  
ニ。或ハ勝亦ハ劣ナシ。口傳有之。但是等ノ人ハ欲

ノ深キ故ニ財ヲ奪。力爲又貪。貪地戰ノ場ニ莅  
テ。一往勇アルモ多カラシ。然ハモ仁義ト忠ト武  
道ノ心行ニアラサレハ。誠ノ勇ト云カタシ。所謂  
ノ賊徒ノ財ヲ奪ニ。命ヲ控ニスルニ。倍タリ。是  
行跡ノ人稱讚シ義ヲ進ラシ。又ハ忿有時。又禄ヲ  
受シ時ニ強勇ノ行跡有。愚ナルハ然也。亦少賢  
ハ。禄ト已カ念トノニツニテ。勇ヲナス事多。比皆血  
氣ノ勇也。又生得ノ勇者ノ事。尋常ニ申所ナレ  
ハ。謂ニ及ス將タラン者。此等ノ品々ヲ分別シテ。或ハ  
禄ヲ與。謀テ義ヲ進。謀テ所領ヲ與。ト紛ヲ  
堅スル時。一往ノ勇ノ振舞ヲナス物也。口傳有之。

○又生得ノ勇者ノ義ノナキト血氣ノ勇者ハ持  
為ニ利ナル事ハヒトツ也得失互ニ備レリ余ニ勝劣ハナ  
キモノソ亦品々ニヨツテ勝劣大ニ有ヘシ其ノノ行跡  
勇ノ多クト相對シテノ事成ヘシ口傳有之

○血氣ト生得トノ二勇ハ臆シタルニ大ニ益タラシス少  
但迷心アラハ臆シタルニ大ニ劣ナシ臆シタルハ強ニ隱  
謀ヲハナサル物也心得ヘシ口傳有之

○生得血氣ノ逆意ヲ止テ遣ニ妻女子ヲ質ニ取タ  
ルカ身ノ要タリ也賢父母ヲ取事有ヘカラス仁義  
忠ノナキ人豈父母ニ孝アラシヤ亦父母ヲ捨タルト云  
世ノ毀ヲ省ニヤ妻女子ノ事ハ人間ハ申ニ及ス玄田類ス

ラ是ヲ悲メリ但人々ノ心行ヲ能ク知ヘキ事肝要  
也又此人ノ折言ノ言葉ヲ信スベカラス仁義我忠孝等  
ノ法ヲ行サル人何ソ佛神ヲ信セシヤ又愚ニシテ  
佛神ヲ信セシ人アラハ其折言ヲ信スヘキ事ナリ  
品多カルヘシ口傳有之

○今御宇ノ人々ヲ見ニ智ト仁ト義ト勇ト礼ト  
信トヲ物モ嗜ント思人ハ武家ニ一人モナシ公家ニ  
ハ師賢藤房コソ智モ賢ク仁等ヲ嗜人ニテ其  
器ニ當給ヘシ然トモ師賢婦ハ失給シ今ハ藤房婦  
一人討コソ御坐有朝ニ倭奸ノ人ノミ多シテ三綱五  
常ノ義ヲ嗜人ナケレバ代ハ大ニ危キニ近シ是モ君



ノ御政皆邪曲ノ事ノ多シテ善政ト思事ハ由  
ナカリシ故ソカシ御一人角渡セ給ニ何ソ諸人直  
カラシヤ上部ニ少善政モシハスレトモ奥ノ御心  
中ヲ計ニ御身一ツノ爲ニシテ諸人ヲ憐給ニハ  
非ス是故ニ臣ヨリ下万民ニ至ニテ心行皆邪曲  
也物ノ数ニハアラサレトモ某一人少ハ道ヲモ嗜  
故ニ家ノ子郎等ノ中ニハ寸スナカラモ道ヲ嗜  
思人ハ余多有ナントコソ存シ今ノ世猶然也益テ  
此後ノ事ハ適ニモ道ヲ嗜心少有ト見ユルハ倭  
人亦勇有ト思ハ生得血氣ノ二勇者ナラニス  
ルゾ誠ニ道ヲ嗜人又仁義ノ勇者有ヘトモ思ス

能ク此心ヲ分別有ヘキ事ナリ口傳有之  
○正成か一生ノ後モ朝敵寄來事アラハ郎等ト  
家ノ子トモ妻子ヲ悉取集テ吉野ノ奥賀名  
生入遣仁義勇忠ノ兵ドモニ申付テ能守セ給ハ  
凡仁義ノ勇ト生得血氣ノ二勇ト又勇ノ勝劣  
ヲ知バカクノゴトクニテ候仁義忠有テ毎度ニ恐動  
ナクハ先勇ト知給ヘ倭人ノ賢ハ亦是ニ侶タルモ  
ニテ候能ク心得テ此下卷ノ旨ニ合テ息ナク毎事ニ  
心ヲ付給ハ誤ハ少モナカレシ是勇士ノ一相也口傳有之  
○又頼魂悪々敷眼ノ働輕カラス自然二人恐テ  
奸ヲ云有生得ノ勇ノ相也ト右ヨリ申傳侍

某此相ノ人ヲ見ニ。十人ニシテ七人ハ人ハ曾也。又  
三人ハ勇ニアラス。大形ノ義タル心行ト謂ニテ  
知バオニシテ十ナガラ違事ハナキモノ正成是  
ヲ見ニ。百ニシテ一ツニツハ違有レ後ニ思合レ其  
智ノ足スレテ見誤タリ。道ノ禍ニアラス或親ニ  
心ヒカレテ悪キ行跡謂ニ能義ヲ付テ思レユヘ  
也サレバ君字ハ諸人ヲ見事能サレ奪ガレト云  
誠理ニ當テ覺テコソ侍レ口傳有之  
○又慢有ハ誤多キ物ナルゾ。少徳アルシ慢ロスシテ  
能ク自ノ分限ヲ省給ヘ慢ハ一切ノ障ト成物ゾ  
自ノ分限ニ過テ行謂ハ皆慢也。毎度ニ謙下ト

古人ノ云置レハ是也。自ノ心ニセソニ及タリト思ハ  
五ツニ及ガタキモノゾ心得ヘレ口傳有之  
○慢ノ行跡謂ニ人ノ斤腹痛ク思物ゾ。誠耻敷  
事ニヤ。是一ツ。慢アラシ人ハ諸道ニ慢アリナシト  
思故ニ諸事ヲ宜ニ心有ハ是シ信セ又物ナルゾ  
是ニツ。慢ハ人ノ悪ニスル物ゾ是ニツ。勝タル執云  
ノ人ヲ侮故ニ深キ奥ヲ傳ガル物ナルゾ是四ツ。  
慢ハ誤多シ是五ツ。慢ハ智増事ナレ是六ツ。慢  
ハ他ヲ嘲ノ根也。是七ツ。慢ハ争喧ノ端也。コレ  
ハツ。此外ニ無量ノ惡事生スル物也。又慢ハ愚ヨ  
リ生スト見タリ。人毎ニ慢ト侈ト無ハ千万人

中ニ一人モナシ。其是ヲ見ス慢ト侈トノ勝タルヲ以テ  
 毀朝ハ出来也。三思一行九思一言常ニ忌給ヘカラス。  
 亦角云ハトテ。正ト邪ト直ト曲ルト黒ト白水決ノ  
 コトクニ見タルヲ。三思一行ヲ思テ心ノ行ニ急有ハ  
 愚ヨリ出ル誤成ベシ。又三思一行ニ事ヲ寄テ親ガ  
 邪曲ヲ誡サルアリ。加之親ガ善ノ少ヲ以大ナリト  
 云。廉カ善ノ大ナルヲ少カシト云アリ。大ニ奸事ニヤ  
 又親ガ惡シ善也ト云。今ノ世ニ其類多シ。前代  
 未聞ノ曲事也。家ヲ失國ヲ亡ヘキノ端也。心得ヘキ  
 莫ゾカシ。又戰ノ急ナルニ莅テ臆スル時。三思一行  
 ヲ思出シテ。勝ヘキ軍ノ圖ヲ脱シ。大ニ損ヲ取莫  
 也。

アリ。奥ノ心ニ臆アルガ故也。此相ノ人仁ト義ト忠ト  
 ヲ皆デ行ハ仁義ノ勇者也。又人ニ讚ラシ。亦ハ賢  
 禄ヲ得ニ心別シ。亦ハ念持勇ノ増ハ皆血氣ノ勇  
 者也。口傳有之。  
 ○三ノ勇ハ一射也。一射ニシテ又別也ト思ベシ其人  
 ノ心ヲ直キト曲ルトニ依ベキ事成ベシ。身三ノ相ハ顔  
 色和ニシテ。謂ト行ト奥ニ骨有。毎事ニ恐動口ス。  
 事ノ急ナルニ色變ヒス。意タニス。是古ヨリ申傳  
 之所也。某是ヲ以人ヲ見ニ。ナニシテハツハ相當リ。但  
 此三相ヲ知タル人偽真侶テ。此行跡ヲ作成有世  
 人多ハ是ニ迷テ勇有ト思リ。是ヲ知テ思ハズ。

暮ニ親馴テ。謂ト行トノ相ト違トヲ見テ知ト思則  
心其本性ヲ覺スルモノ也。但見トスル人ノ智ニ寄  
キカ心得ヘキ事。口傳有之。

○實ノ勇ナキ者。弟ニノ相ヲ偽真侶ル多シ。其人ノ  
本性ヲ知テヨリハ。行腹痛キモノ也。亦今ノ世ノ風流  
ヲ好人々。多ハ弟ニノ相ヲ偽真侶ヲ任損ジテ喧嘩  
好無益三人ヲ損武々敷漫成行跡多シ。又風流ヲ好  
人ノ中ニ生得ノ勇者モ有モノ也。仁義ノ勇者ハ有ベ  
カラス。仁ト義トノ有シ人何ニヨテカ風流ヲ好ヤ心得  
ナキ事也。其外品々ノ事多シ。口傳有之。

○又實ノ三相アル人ハ希哉モノニヤ。此故ニ勇ノ三相

有クハ國ノ司タラシ人。武將タラシ人ハ如何ニ親スベ  
シ。亦三相ヲ傳シハ。其器ニアラス。ハ傳ヘカラス。不器ニ傳  
ル時ニ邪僻ノ行多カルベシ。又頭路ニシテハ道スラシ  
其外損失多カルベシ。口傳有之。

○又臆ノ三相ノ事。勇ノ三相ノ中タルベシ。倭ト奸ト邪  
ト欲ト有シ者ハ。仁義ノ勇ナシト知ヘシ。柳ノ風ニ隨  
カトクノ者。毎度ニ魂ヲ消者。鷲ノ深重ナラシ者。何  
モ生得ノ勇有ベカラス。生得ノ勇ナシハ血氣ノ勇カニ弱キ  
物ナルゾ。又倭者ニハ。生得ノ勇モ有ナシ。倭ハ賢奸  
ハ愚ナルノミ別ノ事ナシトハ申ナカス。臆モ少ハ奸ナシハ  
有物ヲ也。此等。勢不器ナルニ傳ヘカラス。理先ニ云カト

○又三勇ノ相ナクニ臆ノ相アルヲモ捨ル事ナクニ  
臆ノ相一ツニツ有レ人勇ヲナシタルヲ某見タリ。其  
相ナキカ勇ノ行跡アリシハ云ニ及ス。是ノミニアラス。毎  
事ニ一篇ニ心得ヘカラス。一篇ニ心得ルハ大ニ惡事ツカ  
シ。人ノ司ト成シ者殊ニ心得有ヘキ事也。其道ノ勇義  
ヲ檢タラシ者其一ツヲ叙テ余ノ勇義ヲ極ズシテ  
勝劣ヲ定ル事大ニ不審キ事ニヤ。此等カ行跡謂  
道々ノ勝劣ヲ沙汰セシテ心アル人ノ聞テハサツ  
行腹痛ク思ナシ。其身ノ奥ノ心ノ邪曲ト。智ノ淺深  
ト皆露顯シテ。耻敷事也。大人ハ後ニ大ナル笑ト成  
少人ハ又少ク分々當々ノ笑トナル物也。口傳有之

○國ノ司タラシ者智ノ拙ヲ他ニ知ルハ則ハ國ヲ奪  
ル端トナルモノ也。勇臆ノ相又以同ト也。源義家朝  
臣ハ三臆ヲ捨テ其人ヲ捨スト宜シ。意ハ三臆ノ相ナ  
キハ希成モノソカシ。良將能軍ノ法ヲ出シ謀ヲ巧ニシテ  
賞罰ヲ明ニシ能敵ノ間ヲ窺則謀圖ニアタリ戰則ハ  
三臆ノ相有クヲ以敵ノ三勇ノ相アル士ニ勝モノ也  
カリクゴトクニ時ハ臆病ナク無道ノ者ナシ。去ハ良將ノ  
下ニ臆兵ナク。古將ノ下ニ勇士ナシト宜シ。理ナル哉  
時代押移テ九高判官義経ノ曰。何ゾ三臆ノ相ヲ  
捨給ト宜シ。將ノ勇ト謀ト仁ト義ト智ト兼タル  
アツテ軍ノ法ヲ能ク立テ勝ヘキ圖ヲハツチス。戰

恩地

二十八

戰則ハ三臆ノ相ノ臆兵ヲ捨ズシテ此皆實士ニ或モ  
也何ゾ臆ノ相ヲ捨ヤト宜シ。恐ナカラ御誤ニヤト宣  
シ。義家ノ何ニ言葉ヲ替テ。義理ニ相違ナシテコカミ  
クツ間ヘシ自武ノ譽アルニ侈テ也。角直一先代ノ名  
將ノ非ヲ奉シスラ善ニハロズ。益テ非ナキヲ角直  
ニヤ。義経年イニシ若ケレハ也。少ノ悪スラ今ノ世  
ニトニリシ將タル者ハ假初ノ謂行跡ヲモ善嗜  
ヘキ事也亦謀ノ道ヲ能人ニ知ラモト思給ニヤ有  
ケシ。奥ノ心知ガタシ。口傳有之  
○義家ノ比猶仁義ノ勇者ハ希ニツ覺シ。二ノ勇ノ  
相ノ久モ亦希ナリト見ケリ。益テ今ノ世ニハ猶少

カラシ此等ノ軍士ヲ卒シテ戰場ニ向シハ。余多ノ  
心得有ヘシ。軍ノ備亂安シテ四陣調カクシ。是  
一ツ。一軍員也ニシテ二軍ニテ勝カクシ。是二ツ。荒陣戰  
サル前ニ後陣敗ス。是三ツ。諸軍皆シテ將ノ下知シ  
聞ス。是四ツ。自ノ勇。名利ヲ貪ニ事專トシテ戰ノ  
勝負ニ心ヲ懸ズ。是五ツ。至ニ恐ル威ナケレハ士卒  
下知ヲ重ビス。是六ツ。前陣少勝也アレハ諸軍  
下知ナキニ軍ノ備ヲ亂ス。是七ツ。大勢カク小  
勢ニ違ノ失アリ。謀ナラサルノ損アリ。重テ戰ニ  
トスルニ敗スル理アリ。敵ニ討ルノ端也。是八ツ。  
紛シ堅シテモ亦變スルニ安シ。是ハ九ツ。懸ルニ大程

是也

三ノ

勢ヲ強ニテ比ルニ大風ノ前ノ木葉ニ似タリ是レ也  
也。下往見所ハ臆ノツツ也トイヘトモ。奥ノ心ヲ知レ  
兵等。常ニ欲ニ仁義ヲ忘タルガ故也。万士皆臆ナル  
ニアラス万士不別テ道ヲ知ズ仁義ヲ嗜ガルカニ  
非スヤ去ハ將タル者智ナクシテハ時ヘカラス。和過ナ  
威。極クナラシ。威ナクシテハ時ヘカラス。和有テ又罰  
行亦賞ヲ重クセ。罰過則バ又悪カラシ。賞モ過則  
士。倦モノ也。又侈テ恩ヲ忘モノ也。賞ト罰ト威ト和  
ト。行ニ時々ト人々ニ依テ品有ヘキ乎。大ナル口傳  
有ヘシ。意筆端及所ニアラス口傳亦盡ス事アツハス。  
能心ノ奥ニ隠テ。此品々シ心得ヘシ。此故ニ常ニ無道

ヲ禁スレハ無道ノ兵ハ自然ニ有道ノ兵トナルモノ也。安  
全ノ世ニモ武ヲ忘サレト云レハ此心ニテモヤ有ラント思  
サレバ常ニ是ヲ禁スルニ心得有ヘシ。譬バ三冬ノ雪ヲ  
消ハ雪也。邪ヲ防ハ又邪也。口傳有之  
○安全ノ世ニハ倭奸ヲ禁スル事ハ別ニテハ國ノ亂  
兼慮故也。惣ジテ政ノ一切ノ障ト成モ也。殊ニハ  
諸人ニ角倭奸邪欲アレハ戰ヲ決スル事。成ガタ  
キ物也。但倭奸ヲ捨テ其以テ捨サレト甲事ノ  
侍意ハ。國至ノ行跡ニ少モ倭奸邪欲ノナキ事  
也。常ノ謂ニ倭奸邪欲ヲ忌トナレバ。年月ヲ經ル  
ニ隨テ諸人ノ倭奸邪欲ハ自然ニ理ニナル物ナリ

恩地

三

極テ倭奸邪欲ノ深大ニ有ハ止ガレ物也此等ハ百  
人カ中ニ三人多ハ四五人ニ過ガレモノゾ。早ク是  
等ヲハ敗スヘシト心得ベシ。大倭ナルハ賢聖ノ人ニ  
紛モノナルゾ。左ハ有テカガ常ノ行跡ト謂トニ心ヲ付  
テ見聞スレハ能知ル物也。口傳有之  
○又倭ナルハ申ニヤ及奸ナル邪欲ナルニ諸職何ヲ  
モ一ツトシテ司トラシムル事ナカシ。奸ハ盜ノ根ナリ。  
邪欲ノ者盜ナラザルハ希成モノゾ益テ人ノ司  
トシテヤ。奸ニ邪欲ノ者人ノ司タルハ國ノ政皆  
亂テ。久カラスシテ皆モルモノ也。一ノ司タル者奸ニ  
邪欲アレハ諸司ノ人皆自然ニ邪欲ニ成モノ也。惡ニハ

成安ク善ニ成カタクキ理アレハニヤ。是等ヲ司ト  
スル時ハ或ハ恣有或ハ沙汰ニ私曲有此ニツノモノ  
アレハ諸人苦テ國主ヲ恨善政日ヲ返テ破災  
禍次房ニ發ツテ。久カラスシテ己ル物也。口傳有之  
○凡職ニ賦スル者別シテ撰ヘキ事多ク其器ニ當  
サル者束テ此一ツ也。其中ニ奸ナル邪欲ナル愚ナ  
ル曲ナル等也。愚ハ其品々ニヨツテ。賢愚モアリ  
ナシ。其道ニ賢ナル其器也。其道ニ愚ナルハ不器ナリ。  
別ニ愚アリ其道ニ賢ナリト云トモ生得ノ才ノナキヲ  
愚ト云也。其一道ニ賢ナリト云トモ。萬卷ノ書ヲ學  
スト云トモ。生得意ノ愚ナルハ物ノ用ヨリガレモノ也



又倭者ノ司タル事ハ中々申ニヤ及奸者君士近  
付傍ニ侍ハ其國心亡ト見タリ。上ノ人ニ限ス下  
万民モ然也倭人ニ親セバ危事ノミ有ナニスルゾ  
此故ニ主將タラシ者ハ先人ノ倭奸ヲ見ヨト也  
又亂世ノ時ニハ倭奸邪欲ノ人ヲ禁セズ。百万ノ  
衆ヲ籠スモノゾ然レトモ猶奧ノ心ニハ諸人ノ善惡ヲ  
知テ。倭ヲ防ニ倭ヲ以シ奸ヲ禁スルニハ奸ヲ以シ  
敵ヲ防邪ヲ防諸惡ヲ防ニハ賢才ヲ躰トシテ謀ヲ  
巧ニシ智ヲ遣愚ヲ遣邪ヲ遣正ヲ遣欲ヲ遣仁ヲ遣義  
ヲ遣奸ヲ遣賞ヲ遣勇ヲ遣慮ヲ遣實ヲ遣定ヲ内  
心ニシ不定ヲ動ノ外ニ立ヨ。道ヲコ、口ノ奧ノ奧ニ

秘シテ上郎ニ散亂シテ且ニ隨ヘ口傳有之  
○又主ト將タル者ハ慮ヲ專ニセヨ忠ヲ賞セシ事ヲ  
忘ル莫ナカシ。賞忠ニ過其身ニ過ル事多ケレハ或  
倦或侈有心得ヘキ事ゾ。道ト慮トハ一ニシテ又別  
ゾ道ヲ知ラ智ト云。其道ニ叶テ行未ヲ知ラ慮ト  
云バ也。口傳有之善惡ノ行ニ未ヲ知ニヤ。此故ニ道ノ  
大躰ニ叶則行未ノ事ヲハ知モノナルゾ。當時ト行未ノ  
損ト徳トシテ分別シテ。小損ヲ捨大得ヲトシ安全  
ノ政道ニ大異ナルモノゾ。逆亂ヲ鎮國ヲ隨テ後  
政道ヲ順スベシ。口傳有之  
○賢者ノ行處其前ニ敵ナシト云ル意深覺スベシ

又泰平ノ世ニモ。亂世ノ時モ。諸職ノ政ヲハ。至直ニ是ヲ  
聞テ直ニ是ヲ行。是。明君ノ善トスルノ道也。良臣ノ  
好スル所也。聞テ王并邪欲奸佞ノ臣ノ惡スル道ナリ  
亦邪欲ノ奸佞一切ノ不道ヲ禁ズルノ道也。又人ヲ  
捨サルノ義也。又佞人ヲハ其人共ニ捨ベシ。政道是  
邪魔國家ヲ失ノ根也。能心ヲ覺セヨ。口傳有之  
○又勇士ノ戰場ニテ。功ヲ成スニ。余多ノ心得有。力  
量早業人ニ勝リ。馬打物達者ニシテ。心勇ナルハ  
上勇也。是モ佞アラハ。何カハ。此人々。佞アルハ。大  
ナル怨ト成事アリ。謀巧ナレハ。佞出来テ。國ヲ  
覆事アルハ也。口傳有之。又佞アラハ。威ヲ押ヨ。佞

アルハ必多有。佞アルニ。佞ナキハ多キモノ也。此勇ノ人ニ。佞  
少ク。佞アラズ。ハ常ニ親スベシ。兵ノ中ノ實ナルハ也。諸人  
ノ中ニ希ナルモノ也。此人ニ將ノ器アルハ。猶希也。正成未  
此。サナル人ヲ見ズ。口傳有之  
○又力量尋常ニシ。亦ハ劣ニシテ。早業等ノ武藝云  
人ニ勝テ。勇ナルアリ。前ノ上勇ニ同ジ。少劣ツラシ  
カ。但強カト。早業ノ勝劣。強弱ニヨルベキニヤ。口傳  
○又力量早業等ノ武藝。何モ尋常ニシテ。生得ノ勇  
者アリ。前ノ次也。早業人ニ勝タラシハ。先ノ兵ニ同カラ  
シ。力量人ニ勝タラシハ。勿論上ノ兵也。生得ノ勇ハ。世ニ  
稀ナルモノゾカシ。勇尋常ナラハ。常ノ兵ト知ベシ。亦形

謀略

兵

劣ニシテ。力量尋常ニ劣。早業乗馬打物人ニ勝テ  
心ノ勇ナル有。前ノ次也。但勇ノ多少ニヨルベシ。此等シ  
ハ皆上ノ兵也ト。平將門ハ宣置レシ。處トニヤ。此上  
ニ某ノ存ル處アリ。力量早業乗馬尋常ニシテ  
弓ノ上手矢ツキ早ノ手利アツテ。勇人ニ勝タラシ  
上ノ勇ナルヘシト。思侍ゾ。何モ勇有テ。武藝云ノ一ツ  
勝タル兵ハ。今ノ世ニ上ノ兵ト思ヘシ。然トモ彼  
等ニ倂ト奸ト邪欲ト有テ。侈ノ心人ニ勝テハ。何  
カハセシ。口傳有之  
○又力量早業弓馬ノ藝人ニ勝テ。勇ノナキ有。  
此人萬藝アツテ。モ武ノ劫ヲナサス。悪敷才知目

ノナキハ世ノ障トハ成ガルモノゾ。邪智アルハ武藝ヲ慢  
ジ。籌々ニ勝負ヲ見合テ。殊方勝ニ乗スル時ハ。軍  
ヲ備テモ。下智ナキニ懸。出勢タル兵ヲ討テ。高名  
アリト聲ヲイダラカシ。高聲ニ仰。是軍法ノ障ト  
成事多シ。一人軍將ノ下知ヲ背。則諸人モ亦然ナリ。  
是敗軍端也。又一人角。氣色ハウテ。叙言ヲ見テハ  
諸ノ士卒。浦シ敷事ニ思テ。是ヲ真侶スル故。自  
然ニ皆奸ナルモノ也。是敗軍亡国ノ端ニアラスマ。別シ  
テハ士卒ノ患ヲ失ノ根也。其外諸ノ悪事生ズルモノ也。  
又此人敵ノ利ニ乗スル。則ハ戰ズシテ走北テ。後二人  
ニ向テ。白我ニ將ノ謀。才有ユヘニ。軍ノ勝負ヲ兼テ

見也

三十四

知故ニ具身討シズシテ。一命ヲ全シテリテト利口  
スルモノチル少。臆シタルヲ隠シ爲ゾカシ是ニヨツテ其  
親兵等實ニ將ノ器有人ナリト讃ル也此等  
田樂猿樂トモノ互ニ我ハ人ヲ譽人ニ我藝ヲ  
讃カモテ見物ノ貴賤ヲ狂ニ倍タリル勇士  
ノ嗜トスル所ハ將ノ下知ヲ守テ一引モヒカス討  
死ヲ心懸テ以本トス事ノ急ナルニ望テハ將ヲ  
捨傍輩ヲ捨テ北ヨリ云ニ非ス一人此行跡アレバ  
士卒皆此行ヲナスモノ也戰ノ危時ニハ士卒各  
死ヲ一途ニ思極則軍ノ利アル者也才死一生ノ  
軍ヲ良將好ニスル處此故ナリ然テ諸率彼行

跡ヲ成サルトキハ才死一生ノ軍ハ成サルモノ也將ノ心ノ  
奥ニ秘スル所ハ軍ノ度毎ニ才死一生ヲ以スル物也  
此故ニ彼兵大ニ師ノ障トナルモノ也大ニ是ヲ禁ス  
ヘキ事ニヤ一人二人ヲ罰シ又レハ自然ニ去モノ也  
○又力量尋常ニシテ早業等ノ武藝人ニ勝勇ノ實  
ナキ有。其行跡前ノ人ノコトシ禁スルモ亦前ニ同ジ  
世ノ愚ナルハ實ノ勇者ト思ヘリ。何モ事ノ急ナル  
ニ望テ定死ヲ道ントスル故ニ貳キ行跡アルモノ  
也。少知智有テ實ノ勇ハナキモノツ。此等ノ勇  
ノ虚實ヲ知ントスルニ心得有ヘシ。謂ト行トノ合  
ト失ト也。口傳有之

○又血氣ノ勇ヲ以中ノ兵トスルノ常ノ戰ニ劫ラサス  
故也。又頼義朝臣ハ狗々兵ト宣シ。又彼長男義家朝  
臣ハ兩狗ノ兵ト宣シトヤ。狗ノ争ハ命ヲ捨ト思ハサ  
レバ也。血氣又然ナル故ニヤ。口傳有之。

○此等ノ兵ヲ集テ野伏軍トサレテ敵ヲ呼出シテ謀  
便トナルモノ也。用ト捨ト口傳有之。此人事極テ急ナル時ハ  
定死ヲ遁ル故ニ貳モ叛逆モ有モノニヤ。此等ノ人ヲ將ト  
スルトキハ實ノ軍ヲハセス勝ベキ圖ヲ外也。益テ十死一  
生ノ軍ハ中々トサレモノ也。此人ニ倭奸アレハ叛逆ノ有者  
其外惡事アルモノ也。思定タル心ナク水ノ器ニ隨テ形  
ノ轉ズルカ如ク人ノ進ニヨル故ニ風ニヨツテ波ノ高二倍

タリ。此故ニ奸ナル始終ノ味方ニワラス。密事ヲ有  
ノマニ閑談スル事ナカシ。敵ニ奸者ノ司アレハ敵ヲ  
謀ノ端也。奸ヲ遣ノ謀アリトハ是ゾカシ。口傳有之。  
○又倭ハ味方アレトモ終ノ敵也。勇謀ノ者ハ強敵ニ  
堅ク是ヲ禁セヨ。又倭ヲ遣ノ謀アリ。口傳有之。ニツ  
ゾ自ト他トゾ。勇ノ兵ニ倭ナル有。奸ナルハ希ナル物  
ニヤ。奸ナルハ必勇ナキ物ナレバ也。倭奸邪欲ヲ禁ス  
ルト遣ト。淺深ヲ知ト。誠細ノ深キ心得有事也。  
○又力皇早業勇尋常ナル有中ノ兵也。此等ガ中  
ニ亦倭奸邪欲修ノ兵多カラシ。尋常ナルヲ禁スルト  
勝タルヲ禁ズルニ心得有ベシ。亦遣ト知トニ心得アリ

愚地

三十五

前ノゴトニ此等ハ至ノ行跡ト上下ノ遠キト近キト  
ニヨツテ彼ガ忠ニ勝劣有ベシ兵ヲ親スト云トモ行跡  
非アツテ輕ク侍ラバ兵等至ヲ侮テ勢虚ニ思故  
ニ實ハ忠ヲナサヌ物也至ノ謂ト行跡ニ實アツテ  
輕カラズ誤ナクトモ上下ニ遠ケレバ兵親思ガハ故ニ  
實ノ忠ハナキ物ニヤ謂行跡ニ實有テ上下ヲ近ク  
親ニモハ少々臆ナルモ勇出來忠モアリナシ此等ハ  
至ノ行ニ寄上ノ勇兵ニナルモ多カリナシ亦形劣  
カ劣ニシテ實ノ勇アルモノアツテ早業等ノ武  
藝ナキハ此人戰場ニツイテ指ル高名ハナキ  
モノゾ人ニ勝ベキ道アラザレバ也戰則多ハ死ス

ルモノゾ定死ヲ道ガ物也ト右ノ名將達ノ宣シ  
誠ニ上代ニハ左モアラシ實ノ勇トハ生得ノ勇者ノ  
仁義ヲ嗜シ云ゾ未代ニハ希ナル者也今ノ世ノ  
兵ヲ見ニ戰場ニ於テ臆シテ前後不覺ニ見ユル  
ツハモノ多ケレバ實ノ勇兵形劣カ劣成トモナド此  
敵ヲハ討テ有ベキヤ上代ト未代トノ異是ニアル  
モノ成ヘシ口傳有之此等モ兵ノ中ノ實タルベシ亦  
早業カカ力量カ。力カノ中一ツ人ニ勝テ實ノ勇ア  
ラン者ハ申ニヤ及兵ノ中ノエタルベシ若家子郎  
等ノ中ニ實ノ勇有ト見シ人アラスハ其器ノ得タ  
ル武藝ヲ習シメヨ如何ニモ親近付テ能扶助ス

東也

三三〇

ヘシ誠希ナルモノナレバ也。又力量早業如何ナル  
武藝アツテモ。生得ニ少モ臆心有ハ下ノ兵也ト  
心得ベシ。但少臆アルハ將ノ進退ニヨツテ。臆ハ失  
テ。勇少出来物也。良將ノ下ニ臆兵ナレト云  
ルハ此謂ニヤ。然ドモ臆ノ深ク有ハ良將如何ニ  
進ドモ失スト見タリ。口傳有之  
○又若カリレ時臆シテ。長生シテ臆減ジテ勇  
ニ成アリ。但實ノ勇ナルハ希ナルニヤ。某ノ見及  
ルハ。年長テ戰場ニ望事度ラニシテ。見馴タ  
ル故ニ自然ニ臆ハ消タル有。又其身ノ力量早  
業守ノ武藝アル故ニ。劫ヲナス事有ト見タリ。此

ヲ上部ノ勇トハ申也。此等ノ人ハ。定死ヲ遁貳  
生ルモノゾ口傳有之  
○又上部ノ臆ト云事アリ。間ニ見ニ俄ニ事ノ出来ニ  
色少寝シ臆ノ氣有トイヘトモ。少心ヲ執鎮又レハ  
臆失テ。勇出来ルアリ。少臆有テ。又賢ナルニヤト  
義家朝臣ハ宣シ。今某ノ存ル所ハ只上部ニ臆ノ  
有兵トノミ思也。此等ノ兵ニ賢ナルモ亦愚ナルモ有ナシ  
口傳有之。又度々ノ戰場ニシテ。臆ノ行跡アツテ。道ニ  
ジキ處ヲ北テ。道タル人敵道サルヲ知テ。勇ノ勸  
有テ死有臆ニシテ賢成人也。若大臆アラハ定死ノ  
所ヲ知ベカラス。然レトモ。大臆ニ同スル物也。仁義忠

道一ツモナケレバ也此等ノ人父ヲ少モ字シ物ノ  
心ヲ知タリト云ナラシ六指禍アリ知テ行カレバ知ガ  
ルニハ劣タレバ也口傳有之此等ノ人ハ父ノ心ヲシリ  
タリトモ常ルノ行跡ニ謂ニ無道ノ事ノミ多カラス  
心得ヘシ口傳有之

○又勇ノ侶モト云事アリ巧ニ勇ノニ相ツ真  
侶シ勇ノ譽ヲ偽テ語其心ノ奥ニハ工部ノ勇タ  
ニモナシ今ノ世ニハサヲ好クノ中ニ多キモノナルゾ  
行跡謂ト相違シテ如何ニモ知安キモノゾ口傳有之  
○又生得ノ勇有テ前ノ如行跡謂スル人有見ント  
欲スルニ知リカタル行跡ト謂トノ大躰ヲ能ク心

ヲ付テ見則ハ勇ノ有無ハ知ル物也口傳有之此等  
ノ人ハ主ノ進教ニ依テ道ヲ嗜ク心出來事多カリ  
ナ但人ニ寄ヘシ又上節和ニシテ忿事少ク善惡ニ恐  
動セガル有勇ノ相也此等ノ人ニ生得ノ勇ナキハ希  
也是故ニ戰場ニテ功有シモ實ノ勇ナキカ多シ又  
功ナキモ實ノ勇有事アリ良將ハ常ニ二即等ヲ  
親ク近付テ教年其謂ト行跡トヲ以勇ノ品  
々臆等並ニ倭奸邪欲忠ト不忠ト義有ト不  
義ナルト正直ト邪曲トヲ知テ賢モ愚モ倭  
奸モ義モ不義モ知モノナルゾ心得ヘシ口傳有之  
○又謂ニ忠ト義ト仁ト直ト有テ行跡ニナクホ



倭奸有人トシシ益テ行跡ニ邪欲等ノ惡事ニ  
大ニ奸有ト知ヘシ倭アラハ常ニ嗜ント心得ヘシ口傳  
有之此等ヲハ禁スベシ高僧等ノ邪曲倭奸ヲ禁セン  
ト欲エハ其身ノ邪曲倭奸ヲ能是ヲ禁セヨ國民  
ノ邪欲ト不義ト倭奸トヲ禁セント欲エハ奉行  
頭人評定衆其外臣下ノ邪欲等ヲ禁セヨ此故  
ニ正行先自身ノ邪欲等ノ一切ノ不道ヲ禁ジテ  
臣下ノ不道ヲ禁ズベシ諸臣ノ不道ヲ禁ジテ  
後諸民ノ不道ヲ禁ズベシ已カヘ不道ニシテハ人  
ノ不道ヲモ禁ジガタシ何ソ國中ノ諸人ノ不道ヲ  
禁センヤ上一人直ニシテ有道法置則臣下皆實ニ

耻敷事ニ思ニヨクテ少ハ直ニ成モノ也此上ニ能臣下  
ヲ擇邪曲ナルヲ罰スル則ハ恐ル心省モノ也又情深ク  
親則ハ臣下皆耻ガハレクモ恐敷モ又親思故ニ臣下  
皆日ヲ追テ邪曲ノ僻事ヲハ消スルモノ也身ノ嗜  
ト賞罰ト親ト三ツノ物ヲ兼テ行則ハ國ノ政行  
テ下民モ亦直ニナルモノ也又亂世ノ時ニハ心得大ニ異  
ナリ口傳有之  
○又少ノ沙汰トテ理ヲ曲ル事ナカシ沙汰ニ出ス理  
ノ人何ゾ少事ト思ヤ人ノ司タル者小事ニ私曲  
アラハ豈大事ニ私曲ナカラニヤ又小事ヲモ曲則ハ  
諸人ノ嘲ト成モノ也又小程ヲモ公義ニテ曲ル

クラン者。豈恨ヲ含サランヤ。是故ニ不道ノ深也。亂ノ根也。口傳有之。又下民ノ訥。或ハ少事ト号シ。又訥人ヲ賤云テ。直ニ聞サル事ナカシ。小事ヲモ國。至直ニ聞サル則ハ奉行頭人。是ヲ聞ニ私曲アルモノナリ。如何モ。初ハ嗜トイヘトモ。年経又レハ。心怠侈生ジテ。邪曲ノ沙汰アル物也。至是ヲ知ラサレハ。後ニ大ナル訥モ。奉行頭人等私曲ノ心。日ヲ追テ。増故ニ至ニ隠テ。私曲ノ沙汰ヲスルモノ也。初直ナルモノトテ。後ニ邪曲ノナキニ非ス。初少邪欲ナル者モ。至ノ賞爵ト行迹ト謂トニヨツテ。直ニナル事多シ。誠ニ心得ヘキ事ニヤ。口傳有之。

恩地

四十

○今ノ某が行迹ノ如ク。在京ノ間ニ沙汰アル奉行頭人ニ仰テ。雙方ニ問ニ答ノ訥状ヲ書ク。凡理非ヲ分別ロサレテ。其後日ヲ定テ。直ニ次ノ論口サレ。互ノ對論ヲモ書キ置テ。奉行頭人法ニ任テ。道理ヲ決シ。談シテ。後ニ決定ヲ亦結句ニ書付。頭人評定衆ノ連判。又雙方ノ論人ニモ判ラツカユニ。其年其日ノ箱ニ入テ置。正成在國ノ時ニ此理非ヲ決シ。候追訥アルハ。勿論也。追訥ナケレトモ。某ガ心ニ決シ。談心得ス候ヘハ。亦雙方ヲ呼出シテ。頭人評定衆ヲ集テ。再決仕。候然ル。恩地。敎和由。敎ヲ始トシ。正成在國アル。

恩地

三十一

毎決談ノ一ハ評定衆ノ決談入ガル事ニヤ  
ナル由傳テ義候ヘトモ奉行頭人評定衆ニ乘  
テ決談ノ事ハ正成ガ存ルヨリモ平路ノ義モア  
リナシレハ此善ヲ取テガ爲又評定衆ノ理非  
ノ分明ナル智ノ分良ヲモ知シカ爲亦自他ノ  
智モ次第ニ増ナシズルゾ亦ハ正成カ在國ヲ待  
テ下民理訪勞ナニスルモ無道ニ候ヘハガテコ  
評定衆ヲ定テ候ゾ又今迄某何人ノ善事ヲ  
宣ニ同也又事ノ候ゾ此後モ某カ行迹謂ニ誤テ  
邪曲ノ事モアラハ諫言ヲ加給ヘ忠ノ事一夕ハ  
レ口傳有之

○又毎年ノ沙汰ノ次第書記テ皆箱ニ納候事  
ハ自然ニ人達テ某カ沙汰ノ次第ニ私曲アリ  
ナント申サバ定テ時ノ政下ヨリ御尋ノ事モ  
アフラト存ル是又某死シテ後此沙汰ノ次第  
ヲ以正行國ノ政ヲモ實ハヨカリナシ知アツテ  
若政アリトモ某カ沙汰ヲ愚ナルカト思智出  
來便トモ成ヘシト思ナリタル故ゾカシ小事ヲ  
モ直ニ聞直ニ云付タルカ能モノニテ候ゾ徳余  
多有事ナリ一ニハ上代ニサヘ正直ナルハ希ニ邪  
曲多候ヘ未ノ世ニハ猶希ニゾ有ナシ然ラバ  
何ゾ國政ノ邪魔ナラサラヤニツニハ至直

ヲ聞ナレハ臣ノ威強成テ忠ノ心ナキハ至コノ害也  
也或ハ侈ニ忠ヲ忘ル有又ハ邪欲ニ忠ヲ忘ル事ヤ  
ルモノ也三ツハ黨ヲ立テ其國余ク多ニ分ルモノニテ  
候ゾ四ツニハ奉行頭人互ニ威ヲ争恐敵ノ思ヲ  
成モノ也五ツニハ威有ガ侈故ニ法定ニラスシテ諸  
人迷惑スルモノニテ候六ツニハ威ノ強ハ益々強成  
弱ハ日ヲ追テ弱成故ニ諸人其強ニ隨テ至ノ思  
シ成モノニテ候七ニハ威ノ強臣ハ逆心有物也角  
亂又レハ禁スルニカナハ又物也水災ノ大ニ過クガ  
ゴトレ水災ナケレハ國滅ス水災過又レハ國ニ損失  
アリ威有臣ナケレハ國治カタシ臣ノ威過又レ

ハ必侈生ス威有臣侈アルハ國ニ失アリト知レ相  
侮テ々々國ノ諸職正行直ニ聞政ヲ執行ベシ臣下  
ニ仕ヘカラス又角云ハトテ我意ニ任テスヘカラス正威  
カコトク評定衆ヲ集テ善義ヲ以スヘシ政道ニ少  
モ私アルハ七箇ノ端ト成モノ也島等ヲ親シ下民ニ  
慈悲ヲ深シ賞スベキヲ賞シ罰スベキヲ罰シ口  
モ賞スベキヲ賞セザル事ナカシ罰スベキヲ罰シサ  
ル事ナカシ罰スルニ念事ナカシ能其久々ノ心ヲ覺  
シテ器ニヨツテ其事ニ遣ヘ口傳有之是萬事一  
言也次ニ戰場ニテハ敵ノ機ヲ覺シテ間ヲ  
窺ヘ味方ノ陣軍ニ敵俄高來ハ敗シテ思ハ

如何程モアルモノ也此等ニ心ヲ入テ是ヲ能莫シ  
テ敵ノ將ノ智ト謀ト軍ノ法ト行迹ト離シ合  
シテ謀ヲ巧ニシテ量サルニ寄ル時ハ百方ノ衆ヲ  
靡テ戰ニ勝事大ニアルモノ也口傳有之  
○亦常々ニ敵ノ將ノ謀ト勇ト仁ト威ノ輕重ト  
又臣ノ謀ト勇ト行迹ト忠ノ淺深ト有無ト賢  
愚ト正直ト邪曲ト仁ト欲ト良莠ト倭奸ノ臣下  
ノ多少威ノ輕重ト國ノ風ト諸人ノ和ト不和ト  
ヲ知テ其謀ニ時敵ト時トニ相應シテ追討セハ  
本朝ノ事ハ申ニヤ及異國廣シト云トモ勝スト  
云事ハナキモノソ此等ノ事ヲ兼テ討知テ謂

行ヲ慮ト云ノミ能慮ニ時テ戰則ハ小勢ヲ以百  
方ノ衆ニ勝テ慮ヲ以國ヲ治則天竺震且ヲモ  
治ツベシ益テ日本ノ内ノ兩國ニ於テマ口傳有  
○又佛神ヲ能敬奉ベシ後世ヲ恐テ惡名ヲ田サ  
行ト謂トヲ專ニスヘシ正行ガ行ヲ以子孫ニテ家ヲ全  
シ國ヲ治ノ行ヲ兼テナスヘシ是亦慮也又身ノ後ノ世ヲ  
モ願テ行ズベシ佛神ノ罰ヲ恐レ又レバ行ニ惡ナシ此國家  
安全ノ端也不觉ニシテ道ヲ知ガル者下向ニ愚ニシテ命  
ヲノミ重ニ道ヲ輕スル者下身ノ榮花ヲノミ願フ者飽遠  
後ノ有シ者ハ如何進トモ誠ルトモ云ヘ不道ノ行跡ノミ  
テラシ歎此等ノ者ハ責テ佛神ノ罰ヲ恐テコト傷心

モ少ハ止メ又親ニモ孝行シ至ニモ忠心ノ出來ニスレ又生  
慈悲ノ心有ナレ一切ノ無道モ自然ニ止ナシ物於傳  
聞天空國ニハ佛法ヲ以國ヲ治タリト此故ニ佛  
法ハ王法ノ外護也ト聖徳太子モ宣シ上代ハ人  
ノ心モ今ヨリハ直ニシテ智アル人モ多ク五帝ヲ  
嗜心モ最深カリレサヘ下人ヲ始奉ツテ臣ヨリ下  
民ニ至近後ノ世ヲ願心怠ナカリシツカシ智アル人  
ノ後世ヲ恐給シハ生音ノ大惠人ヲシテ恐シムレガ  
爲トナリ多由滿仲法師ハ毎日法華妙典一部ヲ  
讀誦シ稱名念佛一方遍唱給シト也此人惠心僧都  
ノ御身字ニテ天台ノ奧義ヲ極テ法相三論ノ

学ニモ闇カラガリシツカシ角シタヒニ事ハ愚ノ下民ヲ  
シテ道ヲ立シメト思給ニヤ最有カクシ鎌倉ノ武嘉  
泰時ハ禪ノ宗旨ヲ尊崇ス年久経テ後時頼ノ  
執權ノ時ニコソ彼宗ヲ尊崇ラレシ泰時身出宗ノ  
ナリ事ハ彼宗ノ奧義邪成ニアラス真空ヲ專トシ  
テ有想ヲ説破ス泰時若此法ヲ尊崇シテ空語ヲ  
覺トセハ諸人後生ヲ願ジテ佛神ノ罰ヲ恐ジ日ヲ追  
テ自然ニ不忠不孝邪欲佞奸等ノ不道ノ行跡出  
來テ世大ニ亂ナン然ルヨリ上宮太子馬慳未來  
記等ニモ無智ノ人ニ禪ノ法ヲ大ニ誡給ハ是ニテゾ有ラ禪  
法ハ是王法ノ外護也ト申傳シ事ノアレハニヤハ語

給へりト傳兼侍ス上代猶然也未代ニ又證トスベ  
キ事也サレハ神武ノ帝ヨリ已來教子ノ歳王法ノ繁  
ナリシ事ハ全別義ニアラス諸人神討ヲ恐レ故ナリ  
シカノミナラス佛法和朝ニ渡テニ世ノ因果ノ理ヲ  
恐レ故ト覺タリ義時泰時ニシテ禪法ノ興義ヲ悉  
學セシ故ニ上部ニ佛神ヲ信ズル様ナレトモ奥  
心ハ本來空ニシテ因果ナレトド學セシ故神  
罰ヲ恐ズ後鳥羽院ヲハ流シ奉レゾカシハ彼泰  
時ハ仁義ヲ專トシテ道ヲ行今ノ世ノ聖人ニヤト  
愚人モ驚計成シ人ゾカシ此人サヘニ下ノ心ニ神討ヲ  
恐サレハ庸不道ノ行迹有レゾカシ益テ尋常ノ仁政

モナキ人々三世ノ因果ナク又神罰ナシ空ヨリ生ジテ  
空ニ歸ナト覺シ人豈無道ノ行跡ナカラニヤ仁義ノ  
道ヲ行根本ハ佛ノ教ヲ深ク信ジ神罰ヲ恐ル處ニ有  
未代ノ事ニヤ殊ニ不禪ノ行跡人法ヲ望ミ賢愚老  
若ノ禁ナク是ヲ尔侍故此國政ノ大ナル障也サレハ  
正成か家ニ不禪ノ僧來テ法ヲ尔ハ家久カラスシテ  
必モ己ニ子々孫々ニ至レバ不禪ノ僧ヲ尊崇スル事  
ナカレ凡佛法ノ事ニ法ナシト申侍ハ天台ト眞言ト  
法相ト禪ト詞ハ別ナレトモ理ハ以同カラシ欵法自ト本  
分ト眞如ト異名同理ナルトヤラニ兼候又佛法ニ異ル  
見解アルハ唯智識ノ解智ノ邪正成ヘキニヤ但正行

見地

四六

長生也。ハ上京ノ次ノ便ニハ如何ニモ密シテ禪ノ法ヲモ聽  
聞スベシ。法相天台ノ事ハ申ニ及ス能ク深理ヲ聽聞セヨ。  
國ヲ治シ者ハ妙モ佛法ト神道ノ事ヲ知サレバ大愚ニシ  
テハ治國ノ法ニモ誤有テ。邪曲ノ事アルモノ也。不禪ノ説  
破ラ面白シド思テ尊崇セバ家子島等トモ皆彼法  
ヲ尊崇スベシ然バ島等家子等奥ノ心ニ佛神ヲ敬ヘ  
カス。神罰ト因果ヲ恐ル心ナカルベシ。是ヨリ不忠不孝一々  
ノ不道發テ。國法政身ニ破國家必亡ベシ。彼法ノ事。島  
等皆面白シト思テ後ハ如何ニ禁スルトモ叶ヘカラス能  
ク此旨ヲ心得ベシ口傳有之。  
又當時ノ僧ノ説法佛戒ヲ背事多シ。ホトケハ悪ヲ

禁セヨトコソ經々ニ説給ヒトナシ然ラ當時ノ僧ノイク  
諸悪万邪ヲ造作シテモ一心ノ向様ニヨツテ成佛スト  
云々。大ナル誤成ニヤ。諸悪万邪ヲ捨ス戒行モナクシテ  
成佛セシニハ釋尊ヲ始奉テ諸ノ佛身子。何ゾ不退ノ  
行ヲ成給ニヤ。是邪惡ヲ止スシテハ佛ニナラサル謬捷  
也。又一切ノ惡ヲ止サレバ正法ノ外護トモ成カタク正  
行ヲ始テ。和由殿。恩地殿。其外家子島等ニ至ミテ。  
少キヲモ惡ヲハ止佛戒ヲ持給ヘ諸人ニモ進給智識  
モ請シ奉テ。真實ノ佛法ヲ聽聞セヨ。神道ノ理ヲモ  
分ムニ傳知テ。神ヲ敬奉シ。是國家ヲ治諸人ヲ安  
スルノ道也。常ニ因果ノ二法ヲ觀シテ忘ル事ナカシ。



神壽ヲ恐テ無道ヲ禁ヨコ口傳有之  
○又政道ノ邪魔トナルハ不直ノ奉行ト倂ト奸ト侈  
ト也中ニ賣僧ノ知識也賣僧ハ倂ニハ劣奸ニハ益  
テ政道ノ障トナルモノ也。有僧ノ曰。今日ノ境界ヲ  
ダスケヨ。是身一ノ要ナリト云ク。此心ヲ極テ問ニ答  
テ曰。大人ニ争時ハ負モノゾ。善惡邪正ヲ云ス。吾ヨリ太  
人ノ仰ニ隨。又大勢ト小勢ト争則バ。小勢ハ負物  
善惡ニヨラス。大勢ノ義ニ隨ヘシ。義ハ宣也。時ノ宜ニ  
タカト云シモ。是也ト覺シト也。是又大ニ惡ニ。古ノ影  
母地ヲシガリシヅカシ。如何ニ大人ノ仰ナリトモ。愚者  
ニ隨テ。謂行跡ヲ成テニ。善事ニヤ。候ヘキ。大勢濁

レハトテ。心有人是ト共ニ濁ニヤ。此等ハ佛法ノ教ニ非  
ス。危モ倂奸ノ邪道ヲ進ル物也。又君ノ非有テ諫ヲ  
以臣ノ道トス。大人ノ惡ナル。大勢ノ邪ナル。一往諫ニ  
云ス。バ國恩ノ報スルノ道ニ非ル物ニヤ。某不思議  
ニ思テ。有禪師ニ問奉ケレバ。禪師ノ曰。今日ノ境界  
シタスケヨト申候ハ。奸ニシテ世ヲ渡シト云ニハアラス。  
大人ノ親ガ非アルヲバ。一往是ヲ諫ヘシ。用ガル則正  
ヨト也。強テ諫テ争ト成則バ。大人ニハ負物ゾ。大勢  
以然ナリ。又常ノ行跡云ナトニ。心持有ヘシ。口傳有之  
善ハ礼惡ナラハ奸ナルベシ  
○又某忠圓僧正此事問奉方僧正曰。義也。時ノ宜ニ

隨シレト云フ意義シヲ以テ如何ニ様ニモ多クカリナシ。先ニ大人ノ宣ス  
事ヲバ。少ク々々愚ク敷シモ大事ニナラサラニ事シハ同ジ給ヘ  
否ト宣ヘカラス。如何ニ道理ヲモ宣ス。大人ノ氣ニ相違シ  
又レハ論トナリ候ゾ。大ト小ト論セニ。小何ゾ負サラシ  
哉。然ハ義ノ宜ニ先立テ。一身ハ七ル物ニ候ハズヤ。  
身亡果テ候ハ。千行万句皆徒事ニ候物ヲ宣  
何殊勝ニ候トテ止ニキ。程經テ南都ノ般若寺ノ  
法印俊數ニ此事ヲ問參セシニ。法印ノ何ケルハ  
佛法ノ奧義努ク々夫ニテハ有間敷候。左様ノ心ハ  
ニテ侍ハ佛法ハ但外典ノ心ヨリモ劣テ淺候ラシ。  
實ニ夫ハ邪曲ノ事ニ候ゾ。偏好人ノ謂ニテコソ候ヘ

或レ經文ニ善惡ハ今日ノ中ト云ク。意ハ此世中ニ惡キ  
事ノ有ラモ患ヘカラス。但今日計ナルベシ。善事アルヲ  
モ喜ムカラス。今日計也。樂モ喜ム。過又レハ跡モナシ。  
患モ又然也。何ヲカ始終ノ喜トシ。何ヲカ始終ノ患ト  
トモニ。昨日ハ今日ノ夢ナレハ。今日ハ又明日ノ夢ナレハ  
ラシト觀スベシ。衆生愚ニシテ此理ヲ知ラズ。不始  
終ノ樂ヲ喜トシ。不始終ノ苦ヲ患トス。始終不苦  
不樂ヲ覺セザルカ故也。又今日ノ全身始終大事ト  
ト覺ト云ク。意ハ今日ノ身ノ難ヲ道病ナトヲ  
退治シテ。身ヲ全シ。佛法ノ大事ヲ行ヒヨトナリ。  
又一生ノ大事今日ノ我身ト云ク。意ハ今日ノ釋

尊阿難ニ對シテ。佛法ノ深理ヲ説給ニ。阿難若跡ニ聽聞  
シテ。佛意ヲ覺ス。一生ノ行ハ徒事ト成ヘケレハ也。誠  
佛法ニ限ス。諸道ノ奧義ヲ傳ニ日ハ。實ニ一生ノ中ノ大  
事ノ是。又今日在身來日不了ト云ルハ。一身ノ無常ヲ  
云ルヲヤ。サレハ妙惠上人ハ。今日露命不消來日如何  
カ定ント宣シ。僧ノ畜ハ愚ナル事試ト思給ケルトナリ。  
今日ノ上ノ嗜ト申ハ。僧俗ト云ニ有ヘキ事也。毎日ノ謂  
行跡ニ。私曲ノ邪ナル事ナキ様ニト是。一ツ行ニ急ナキ  
ト是。二ツ人ニ會スル時ハ。信アリ智アリ義アリ礼アル  
此上ニ僧ハ慈悲深俗ハ仁アツテ。人ノ惡ヲ云サレ人ノ  
善ヲ便ナフ。讚サレ世ノ善惡ヲ白ク云サレ。吾ニ惡有

報セント思事ナカレ。又國ノ爲諸人ニ惡アラシ人ヲハ  
此ヲ禁ス。佛ノ慈悲ノ殺生ナルベシ。此等ノ品々ヲ  
今日ハ嗜ヘント思ヘシ。來日ハ今日ハ嗜ベント思ヘハ。心  
ニ苦ナキモノ也。只今日ノ無事ナラシヌト思ヘト。  
古人ノ云置シモ。此故ニヤ。然シ左様ニ。大人ノ謂ニ私  
曲アリトモ。上部ヲハ夫ニ隨トハ好シ進ルナルベシ。佛  
意ハ左様ニ有ヘカラス。物ヲ知ラサル僧ノ誤ニヤ。  
賣僧ノ邪義ヲ作テ傳ヘシニヤト宣シ。某モトモ  
感信セリ。其後忍テ太徳寺ニ詣テ。彼禪師ニ  
逢奉リ。一旬ヲ聽聞アシニ。般若寺ノ法印ノ宣シ  
ニ詞ハ別也ト云トモ。理ハ以同當時一身ヲ渡シト取

因也

上

思テ。困シ利シ衆生シ渡セント思心ナキ僧ノ説  
法ニヤト思也佛法ノ正理ヲモ傳ヨ政道ノ邪魔ト  
ナラシヲ大ニ禁ズベキ事ニヤ。小松大臣ハ。禪法ヲハ  
知給ハサリシ人ニテ御坐在ケルカ。後生ヲ恐神罰  
ノ家ニ來ニ事ヲ歎キ給テ父ノ相國禪門ノ惡  
行ヲハ堅諫テ止給シ。義時泰時ハヒソカニ禪法ノ  
奧義ヲ究シナト云シ人ソカシ。後生ヲ恐ス。神  
罰ノ重ヲ思ハスシテ。下トシテ君ヲ流シ奉テ王法  
ヲ覆テ年久カリシ。是神罰ヲ恐ス。佛法ヲ信  
セサル者ノ實ノ忠ナキ證擧也。此賢心得ヘシ  
○又遊ノ事。弓馬兵法。六追物。山鷹狩。步行

早業等ハ武家ノ能遊タルヘシ。但多スル則國政  
失モノ也。強ニ面白キト思遊アラハ。玩ベカラス。又捨  
事ナクシ。遊モ重則ハ行ヲ失カ故也。又高等下  
ノ劣ヲ省サルモノナリ。又至ノ好又ル遊ヲハ。島等  
カトノ好ナルハ。事ヲ種々ニ寄テ進ルモノ也。從  
父ヲ覺スト云ク。其行ヲ閣テハ益ナカルヘシ。田樂  
猿樂。白拍子等ハ。入ガル遊也。一向ニ是ヲ捨ス  
レハ。世ニ異人トテ。嘲モノナルゾ。年ニ一度ニ度  
ハ。左モ有ヘキ歎。但過奢シ好テ過分ニ別出モノ  
モ。ハ國ノ恩ヲ知サルナルヘシ。此遊ニ限ズ。遊樂ニ  
寶ヲ遣散ニ事。大ニ無道成ヘシ。唐堯虞舜ノ

思也

五七

風ヲ思イ出イ三ニ大國ニ天ノ君スラ然也也益ニ小國ノ  
小臣トシテニ僕ニ攝津河内ノ兩國ヲ預申テマ  
口傳ニ有レ之

○又高代ノ寄物ヲ求事有ヘカラス。百貫ノ大方  
ヒトフリ持ハ國ノ爲ニ何ノ用ゾヤ。一貫ニテ一振  
ノ太カヲ百作セテ。百人ノ兵ニ持セナハ一方ノ敵  
ヲハ防サラヌヤ。又百貫ニテ米ヲ調ナハ一萬ノ兵  
士ヲハ養ニ何ソ五六日糶トナラガランヤ。又賊ヲ求  
事ナカシ國全賊ヲ求ントスル則民ノ業ヲ奪事  
アリ。又自然ニ民ヲ食事有又自然ニ邪欲生スルモノ也。又  
奉行頭人ハ奸ニ成モノ也。此小魚量ノ愚事生スル物也

則養ニ心ヲ懸ストモ。自身ノ樂ニ過ス。僭ニ賊ヲ遣  
ル則自身ノ賊合蔵ニ滿ヘ。此行ヲ真信スルニヨツテ。頭  
人計是衆モ賊ニトホシガハ有ヘカラス。島寺并諸民ノ  
幣ヲ遣サル則ハ諸民貧シカラジ。是ヲ國畠民豊成ト  
申スルニ國畠又シハ他ノ民集ル由畠不足ナクシテ。耕  
民多餘レリ。諸工諸藝諸商多シテ。國ニ事自足。種  
諸職ノ司ニ盜奸邪曲少モアルハ然ヌ。又盜奸邪曲  
ケレトモ侈テ過奢ヲ好ハ自然ニ盜モ奸モ邪モ曲モ  
出來物也。實ニ器ヲ擇ハキハ奉行頭人評定衆ト。諸  
職ノ司タルキ事也。心得ヘシ司ニ少モ邪曲アルハ衆人  
大ニ苦ム物也。又侈アルハ己カ生得ノ身ノ分ト智ノ分

目也

五二二

ト行ノ令ト下ト下不器等ノ自ノ善惡ヲ省ス高貴  
人有智謀才ノ人ヲ嫉君恩ヲ過分ニ給ナカラ猶飽  
足ス思テ主ヲ恨ルモノ也此等ヲ扶助スル事ハ但怨  
ヲ養テ患ヲ受ニ非スヤ此等ノ人モ實ノ忠ナシ太身  
小身トモ逆ノ隱謀アルモノツカニ傳有之此等ノ人  
ハ修ニ慢ヲ兼タル人也又一切ノ惡事ノ根本ハ愚ノ  
ツヨリ生スルモノ也智アリテ氣力ハ迷ナシ此等ノ人ハ修  
極テ大ナルハ王法ヲ覆ル中ナルハ國ヲ覆ル下ナルハ其  
家ヲ覆ス物也小欲知定ノ心ハ一ツトシテナキ成ヘシ  
皆愚ヨリ邪欲發テ欲ヨリ一切ノ惡事生スルモノナリ  
此等ノ修等一切ノ惡事ヲ禁ビント思ハ先主ノ一切

ノ不義ヲ止ヘテ事前ニ申セシカコトシ遠山美食ヲ好  
モ皆愚ト修ト有故也遊モ度直シハ樂ニナラザル  
物也珍膳モ毎日向ハウニカラス上下トモニ能知キ  
事ニヤ又高位ノ馬合ハセニ長三寸計有テ力ノ量  
強遠行ニ疲ス足ノヨク下シノ以能トス鎧甲ハ實  
ノ善ヲ以好トス太方ハ骨ハ切ルヲ以善トスヘシ作  
ヲ好ヘカラス鎧ハ毛ヲ裁ヘカラス此等ノ事一切ニ  
アリ知スシテ賤ヲ遣テ過奢ヲ好ハ閭主ノ專ト  
スル所也是古ヨリ申傳ヒ道也國ヲ治メ者此道  
ニ背ナハ必亡ル物也口傳有之穴賢是等ノ道事  
事ナカント也

○右ノ書ハ與書ニ曰此鈔ニ入ト有所ニテ講讀スル  
事ナカシ愚ナル奸ナル邪曲ナル盜ナル其外ニ道ノ  
モノハ謗ヲ求テ怨ノ思ヲナシテ又智ノ足ザル  
ハ其深理ヲ得ザラズシ慢ナルハ或謗或得スシテ  
得タリト思ナシ又邪ニ理ヲ得テ其器アツテ  
是ヲ讀ニハ講讀スル事留ニスヘシ深奥ノ義ヲ  
思當事有ヘント云云此一卷ノ大躰二十九テ  
條ノ法アリ一ニハ終間ニモ道ヲ失謀ヲ怠  
仁義智等善惡ノ分限ヲ知ニト思事怠ニ又ナカシ  
三ツニ親ニニヨツテ奸佞等ノ政道ノ障ト成

者ヲ禁ヨサル事ナカシ四ツニ私ノ恨ヲ以テ人ヲ惡  
ル事ナカシ五ツニ學ニ怠事ナカシ又行ニ怠事ナカシ  
六ツニ上下ノ遠スル事ナカシ諸事ヲ奉行頭人ニ任  
テ已知ズ有事ニカシ七ツニ邪曲佞奸ノ事ヲ正  
サシテ罰スル事ナカシ八ツニ己少モ道ニ違事ナ  
カシ九ツニ己カ侈ヲ止テ島等ノ侈ヲ能禁ヨリ  
二ハ罰ハ十賞ハ十ニ三ニ行罰スヘキシ  
賞スヘキモ少忠トテ賞ヨサル事ナカシ  
偏言ヲ信ズル事ナカシ又慮ノ思ヲナス事ナカシ  
中ノ非非ノ中ノ理ヲ聞誤事ナカシ  
シモ討告ナカシ頭人奉行評定衆ヲ集決ヨ多分ナク云

愚地

五ノ

トモ邪ナル偏ナル悪敷義ニ同ズル事ナカレ益テ少  
分ノ悪敷義ヲヤ。善悪ノ理決シ定テ後ニシテ  
又奉行頭人評定衆前ノ論人等ヲ召集テ理  
非ヲ決シ行是ヲ再決ト云ツ。又角云バトテ。亂世  
ノ時ニ至テ。十死一生ノ謀ヲド。多ク人ニ誤ラハカラス。此  
事第一ノ要也。口傳者之。十二ニ其ノ名テ指  
テ。濃ト好ト偽等。一ノ如ク。惡事ヲ云サレ私言ヲ  
聞テ他ノ惡ヲ信サレ。自身月ヲ以スヘシ。實  
ト虚ト多クモナラシ。訥有則バ。評定衆ヲ集  
テ。理非ヲ決マシ。事ニテフサル他人ノ非ヲ語ヲ奴  
サニ十三ニ。此ノ興一劣シ。偽語シテ笑ヲ好カレ

實ニ愚程頭テ。行腹痛キ物ヲ笑シ好ニ病生ズル  
矢アリ。徒事ニ時日ヲ移ノ禍有。心急テ道ヲ忘ルノ  
損有。諸人成義ヲ命入主ヲ輕ニスルノ損アリ。コノ  
事長シ又レハ。法ノ破シ失アリ。是ヨリ諸ノ惡事生ス  
ト見タリ。是國ヲ亂ノ端ニ非ズヤ。此故ニ君子ニ戲ノ  
行ナレ。又謂ナレト。古人モ云置シソカレ。假初ノ物  
語ニモ。明君ノ國ヲ能治シ道良。良ノ只ト義ト  
仁トヲ專トシテ。私ノ命ヲ輕クセシ。分野何ニテ  
其故實有物語ヲ聞ケ。十ニシテ一ツニツハ。偽  
語ノ笑ヲモ用ヘシ。眠ヲ覺ンカ爲。又ハ氣ヲ散  
ルニカ爲也。十四ニ上。一人安樂ナラントテ。下民

思地





邪欲ヨコ九ク多タ欲タ九ク者シヤ司シニアレハ一ク切クカク惡ク事シ出シ來ルテハ國クニ  
家カ亡シルモノ也此コノ十シユ九ク條コト此コノ一ク卷クノ大旨シ也ニ誠マコトニ深キ  
心ココロ待マツ有リ口クチ外ガハスヘカラスニ吾ワカ家ノ外ニ出イスヘカラスニ奉ツク行ハク  
頭カブ人トタリト云トモ是レヲ傳ヘカラス器キニヨツテ其ノ端ハ  
々ハ講コウ讀ドクスヘキモノ也然レニ正行コト此レ針ニ其ノ事シ少ク也  
有リ病ヤミノ僻ニヤトム人々申マヘリ故ニ恩オン地チ存ゾ生シノ  
程ハ私シノ家ニ彼一ク卷ノ理リ古ク判ハ斷ト宣ノ宣ノ所トラハ且ク々々馬  
置キニイフテ供クテ折テ二諫ケンケレハ故正コト成ニ六及サリ  
ケメトモ正コト行コト程ノ智チト仁ト勇トノ三ツヲ兼夕ル  
良リ將シヤウハ末代ノ二六有リカタキ事ソカシ然レニ吉キチ野ノ公ノ  
錫シキ達トノ智淺シシテ天ノ下ヲ朝テセシメ給間ノ敷ト所ヲ

兼カミテ覺シ我身ノ病ヲ分カ別シテ討死ヲ急ニ給ケル  
コノ最ト愛シケシ正コト行ニ三歳ノ幼童アリ多ク門ノ丸ト号ス  
ス内室又子ヲ孕リ是ハ攝ノ野瀬ノ庄ノ住人也  
内藤右共衛道等ガ娘也滿幸其比勇ト仁トノ  
譽アリシカハ故判官ノ御トシテ角成ニテシケリ  
正コト行討シテ後父ノ滿幸ニ心有テ師直ニ屬シケレ  
ハ不仁不義ノ者ノ娘置テハ何ノ用ニカララント  
テ正儀ガ討トシテ滿幸カ方ニ歸シ遣シ又程  
經テ産平安ニシテ一人ノ男字ヲ住リ其後同  
國ノ住人池田丸島教依此娘義人夕レヲ聞テ  
内藤ニ所望シテ夫婦ノ契ヲテセリ件ノ子夫

剛ノ者ノ子ナレハ其養子ニセニスルニコソトテ一家  
ヲ相續シ七歳ニシテ元服セザレバ池田寸島教  
正ト名乗セケリ。後ニ細川武烈入道ノ子ニシヨク  
シテ。数度ノ戦ニ武功ヲ顯シ世ニ武ノ譽アリシ  
池田兵庫助是也。武烈入道モ所以アル者ノ未也  
トテ。太事ノ人ニ思給テケリ。今ノ池田ノ六島ハ教  
正ニ孫佐正カ子也トモヤ。多門凡ハ四歳ニシテ病  
死仕タリト云フ。  
○千破釵ノ城ノ事。傳ニ曰。烈ノ住湯淺九郎湯  
川彦司ト共ニ本國ニ皈ケルガ湯淺湯川ニ向テ曰  
正行已ニ討死仕候又此亂ノ根本ハ一族ニテ候本  
死仕タリト云フ。

宮太尉左衛門カ貳故ニヨソテ。角成行候シゾカシ。其モ  
正行ト一所ニ討死仕候ハント思定テ候シカドモ。追  
手堀宇ノ手分ニヨソキ。大臆病ノ大將ノ手ニ屬シ  
心ナラス命生ラ。候事誠ニ以本意トハ存ス。口惜候  
吉野ノ皇居角成給上ハ。小政等正儀幼ト云。宗  
徒ノ高等トモハ。正行ト一所ニ討死仕テ候ヘバ。百  
二自ハ城ニ恠テ戦トモ。久謀ハヨモ候ラハ。親ニテ  
候者ヨリ以來。二代楠家ノ恩ヲ深受テ候ヘバ  
有谷タル高等トモヲ引具シテ。千破釵ノ城ニ入  
正儀カ成果ニスル様ニ成テ。数年ノ恩ヲ報ジ候  
ベシ和殿ハ本國ニ皈給テ。國ニ殘置候妻子等

家字高等トモニモ此由又傳テ給テマト實ニ  
思ハタル躰ニテノ泪ヲ流シ申ケレバ湯川モ共ニ泪  
ヲ流シ仰最ニ候莫モ正成正行ノ恩ヲ受テ候  
事ハ海々山々ニ候モノヲイササスハ子破劔ノ城ニ行  
テ正儀ニカヲ合セントテ大和ヨリ紀伊ヘハ飯ノ不  
二人カ手勢六百餘騎ニテ子破劔ノ城ニ走行テ正  
儀ニカヲ合ケリ又大和河内ヨリ所々城々ニアリ  
シ兵トモ其外敗軍ノ士卒共走り集テ六千餘騎  
正儀カ千ニ屈シケリ他家々人々カクノコトクナル  
上楠カ高等家字トモハ討死セザルヲ口惜キ事ニ思  
又跡ニ殘レル者トモハ軍ニ合ガルヲ無念ノ言又ニ思

ケレバ此大勢子破劔ニシテ打籠ニハ無念ノ事成  
ベシトテ子破劔ニ六軍勢少々殘置皆赤坂ヘ  
ソ打出ケル赤坂ニテモ敵ヲ待ス正儀カ島等三  
百餘人都合其勢一千餘騎外様ノ軍勢六千  
餘騎敵ノ旗ノ千ノ見元ト等ク石河川原ヘ打テ  
出タリケレハ師泰ニ方餘騎ノ勢ニテ走向ケルカ思  
ノ外ナル大勢カト驚テ是モ同石河川河原ニ對  
城ヲトツテソ戰ケル節諸平ノ集タル事モ正儀  
カ謀ノユミキモ非ス唯正成正行二代ノ楠意ニ少モ  
奸曲ノ事モナリ國ノ者トモニモ情深ク賞罰ヲ正  
シテ政道ニ私ナク謂行シ故トソ聞ヘシ將タル者

許家  
尤可  
秘  
苑  
在  
也

正保二  
酉  
稔  
仲秋  
下旬  
開  
板  
之  
也

云  
為  
天

六  
八  
年  
月  
日



恩地左近太郎聞書 全